

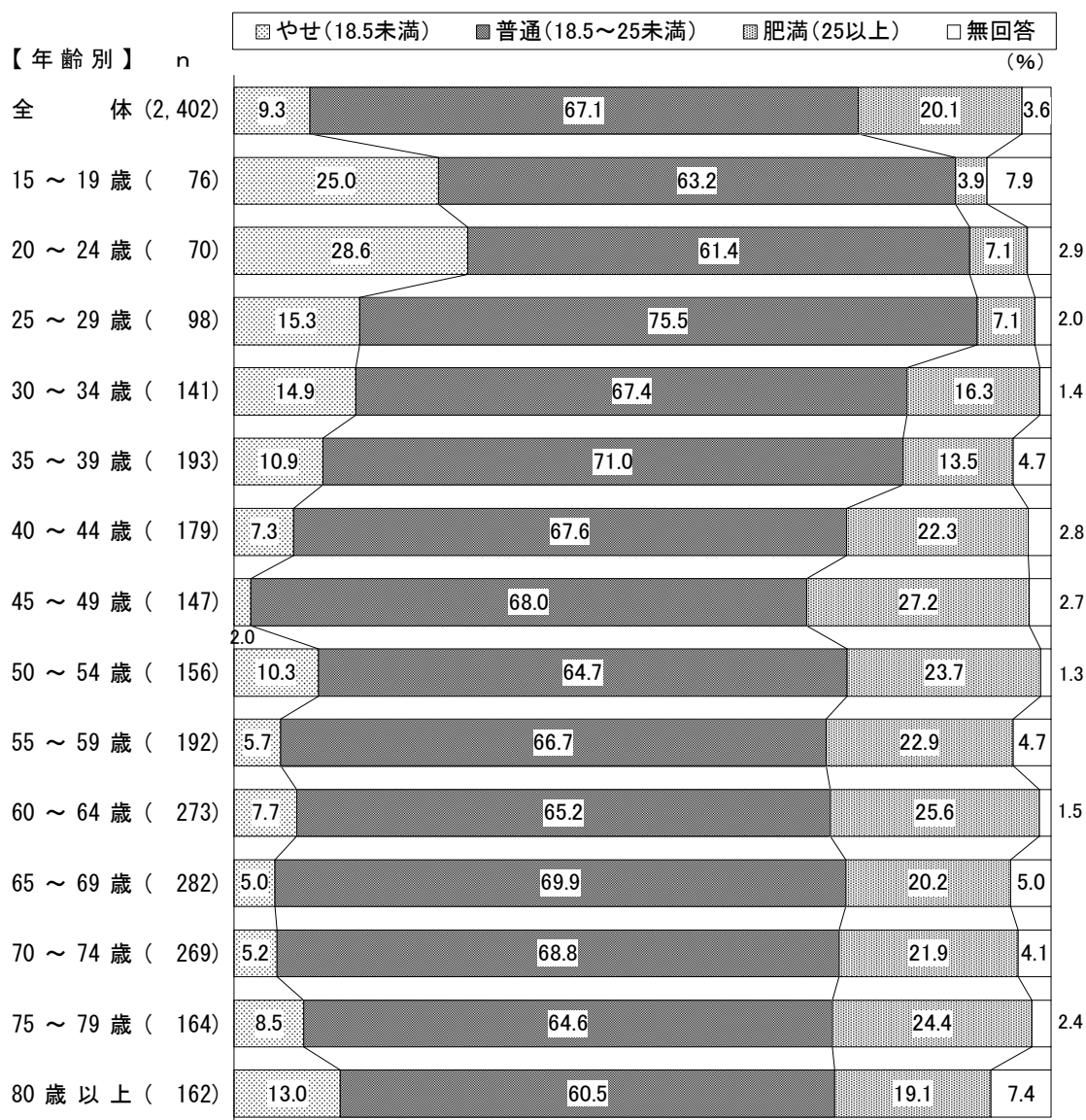
13. 設問間クロス集計データ

(1) あなたの健康

① BMI 判定 (問9ア)

年齢(5歳階級)別にみると、「やせ」は20～24歳が28.6%で最も高く、次いで15～19歳が25.0%、25～29歳が15.3%などの順となっている。「肥満」は45～49歳が27.2%で最も高く、次いで60～64歳が25.6%、75～79歳が24.4%などの順となっている。(図13-1-1)

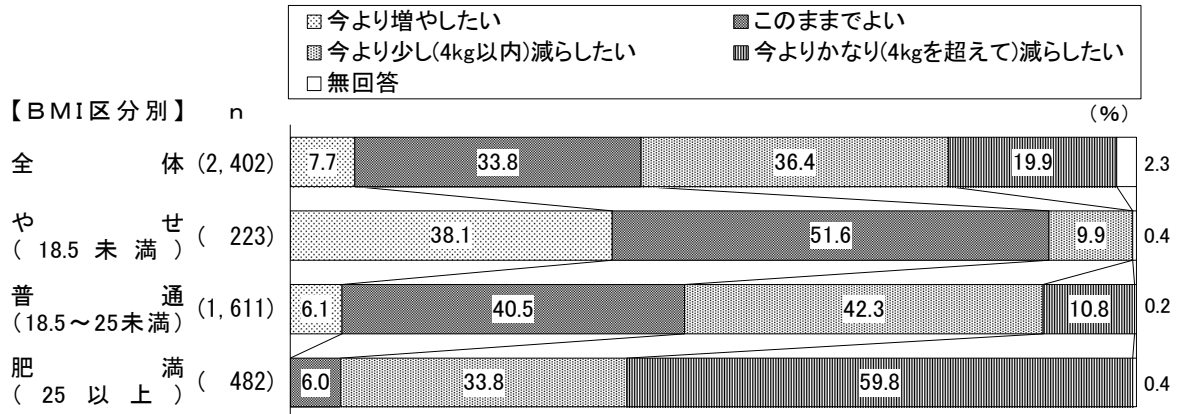
図13-1-1 BMI 判定 (年齢 (5歳階級) 別)



② 体重についての意識（問9イ）

BMI区分（問9ア）別にみると、「今より増やしたい」はやせで38.1%と高くなっている。「今より少し（4kg以内）減らしたい」は普通で42.3%と高く、「今よりかなり（4kgを超えて）減らしたい」は肥満で59.8%と高くなっている。（図13-1-2）

図13-1-2 体重についての意識（BMI区分別）

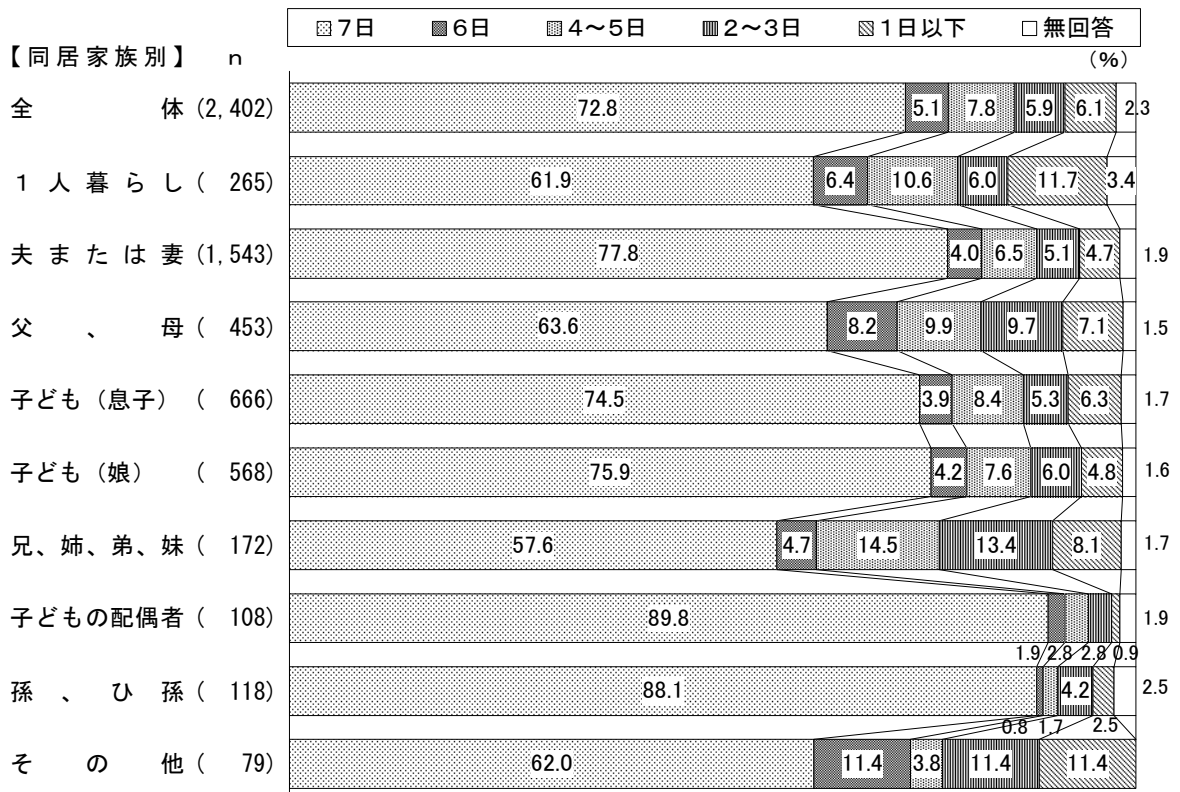


(2) 栄養・食生活

① 1週間に朝食をとる回数（問11）

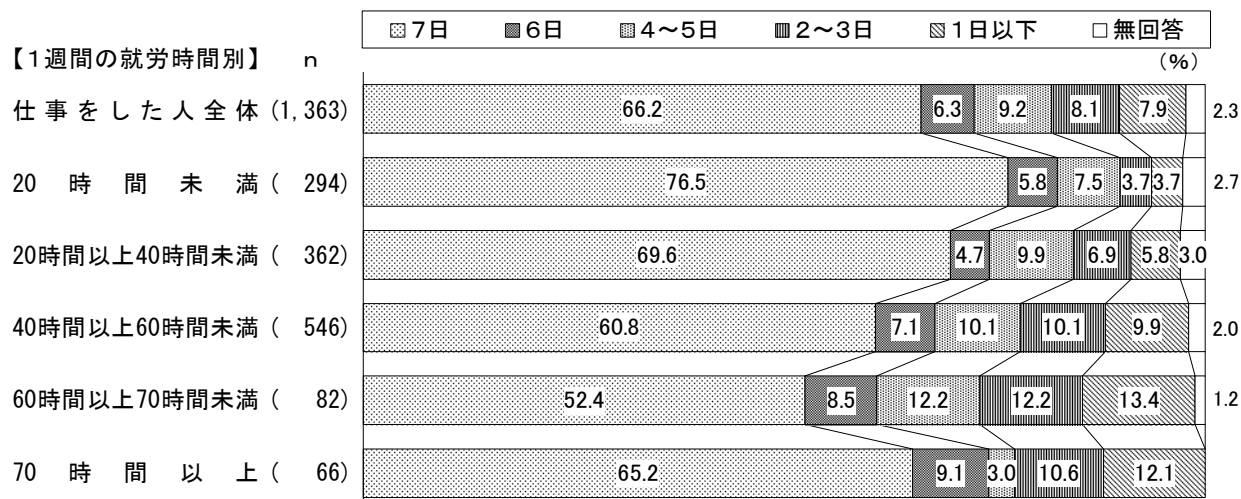
同居家族別にみると、「7日」は子どもの配偶者が同居している人で89.8%、孫、ひ孫が同居している人で88.1%と高くなっている。（図13-2-1）

図13-2-1 1週間に朝食をとる回数（同居家族別）



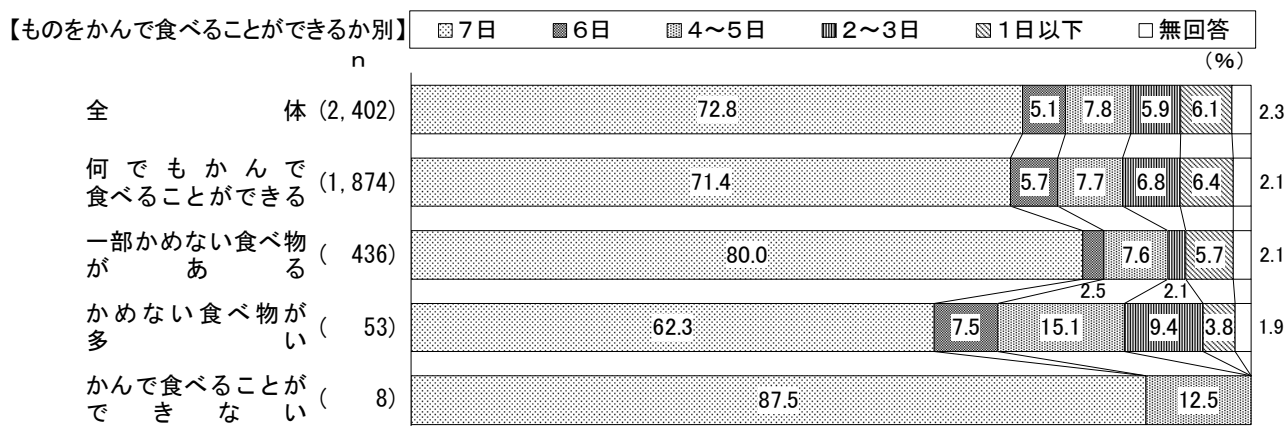
1週間の就労時間（問20-1）別にみると、70時間以上を除くと、勤務時間が長くなるほど朝食をとる回数が少ない人の割合が高くなる傾向にある。（図13-2-2）

図13-2-2 1週間に朝食をとる回数（1週間の就労時間別）



ものをかんで食べることができるか（問30）別にみると、かめない食べ物が多い人では、朝食をとる回数が少ない人の割合が高い傾向がみられる。（図13-2-3）

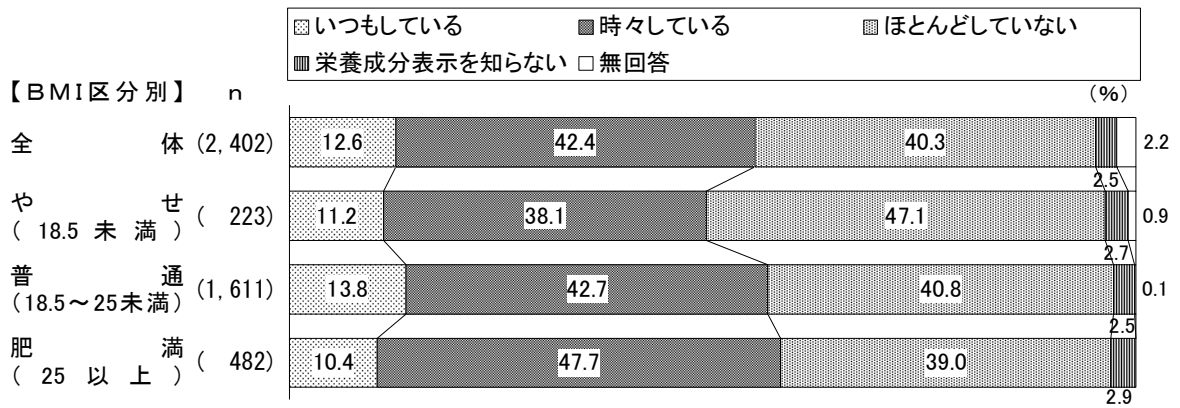
図13-2-3 1週間に朝食をとる回数（ものをかんで食べることができるか別）



② 栄養成分表示を参考にしているか（問12）

BMI区分（問9ア）別にみると、「ほとんどしていない」はやせで47.1%と高くなっている。「時々している」は肥満で47.7%と高くなっている。（図13-2-4）

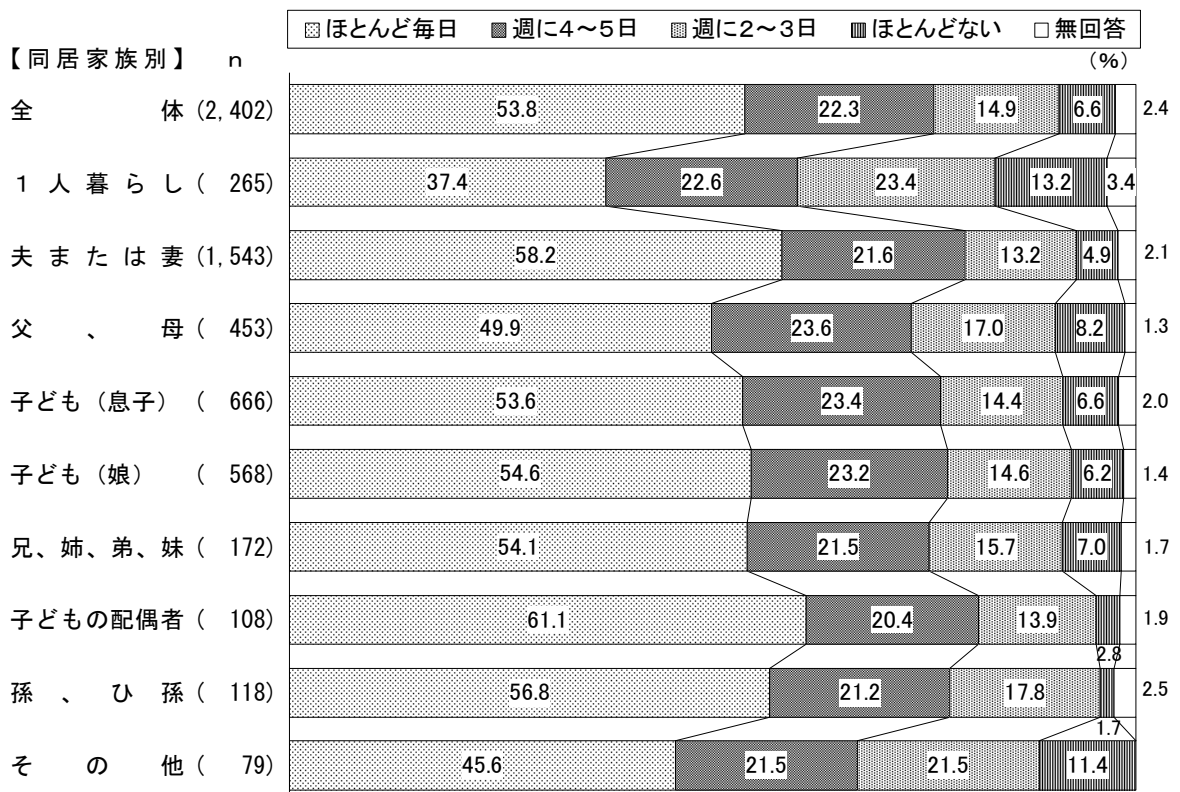
図13-2-4 栄養成分表示を参考にしているか（BMI区分別）



③ 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（問13）

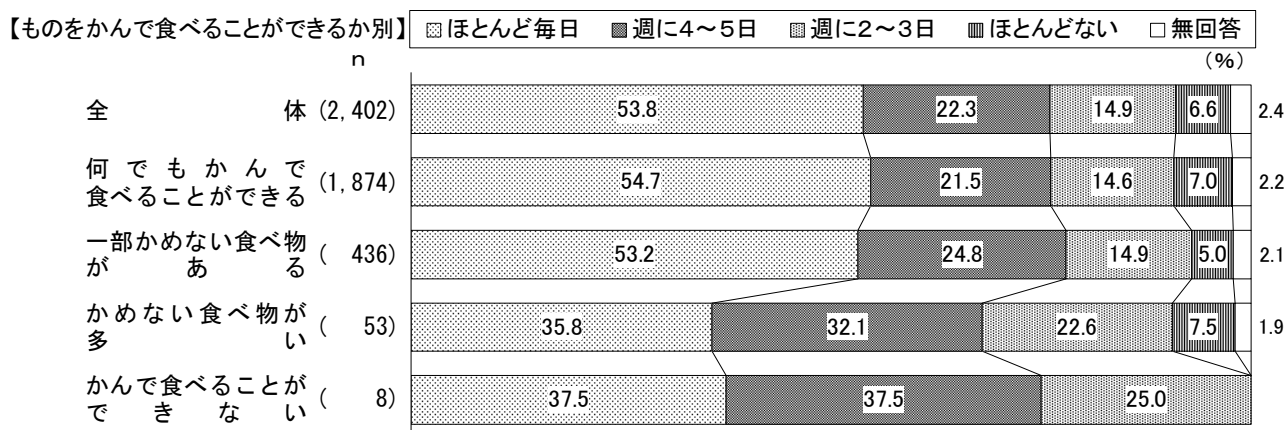
同居家族別にみると、「ほとんど毎日」は1人暮らしで37.4%となっており、同居家族がいる人に比べて低くなっている。（図13-2-5）

図13-2-5 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（同居家族別）



ものをかんで食べることができるか（問30）別にみると、「ほとんど毎日」は、かめない食べ物が多い人で35.8%となっており、何でもかんで食べることができる人（54.7%）や、一部かめない食べ物がある人（53.2%）に比べて低くなっている。（図13-2-6）

図13-2-6 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度(ものをかんで食べることができるか別)

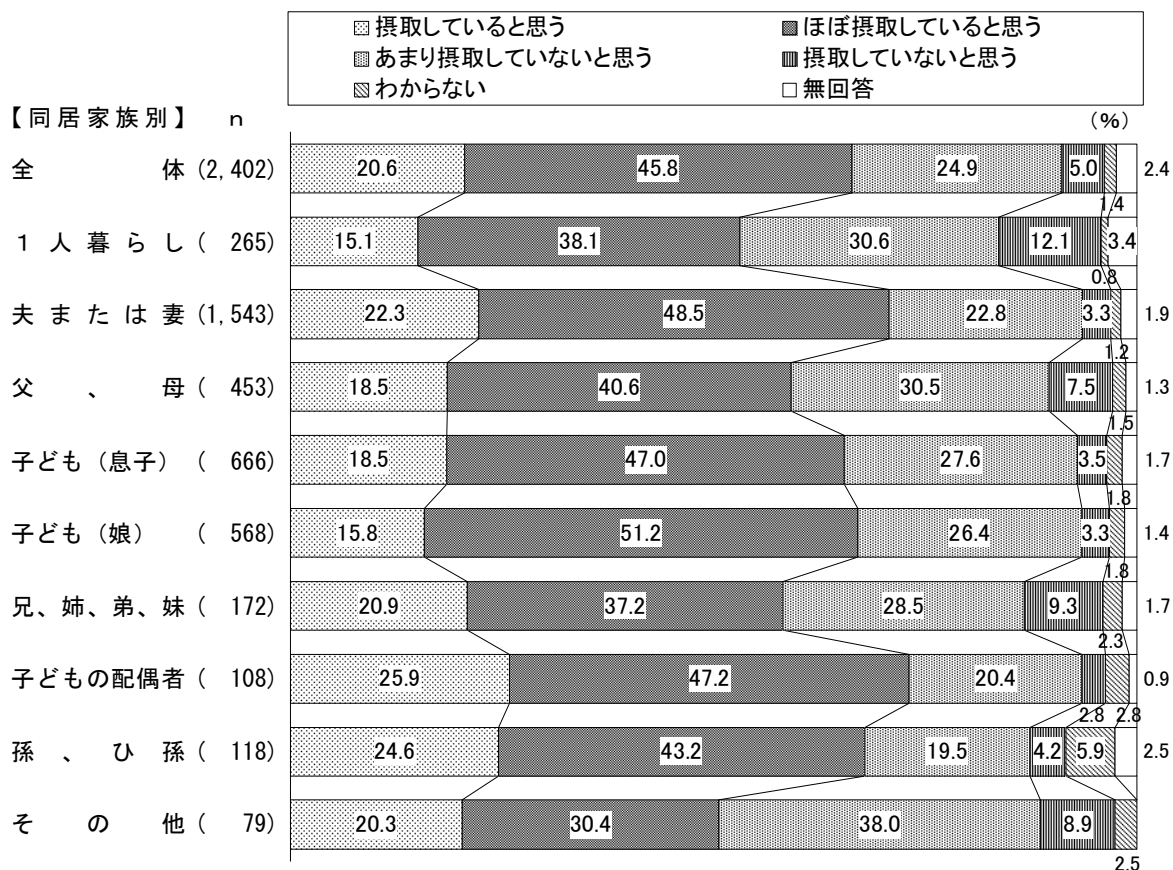


④ 野菜摂取についての意識（問14）

同居家族別にみると、「あまり摂取していないと思う」と「摂取していないと思う」の2つを合わせた《摂取していない》は、その他で46.9%、1人暮らしで42.7%と高くなっている。

(図13-2-7)

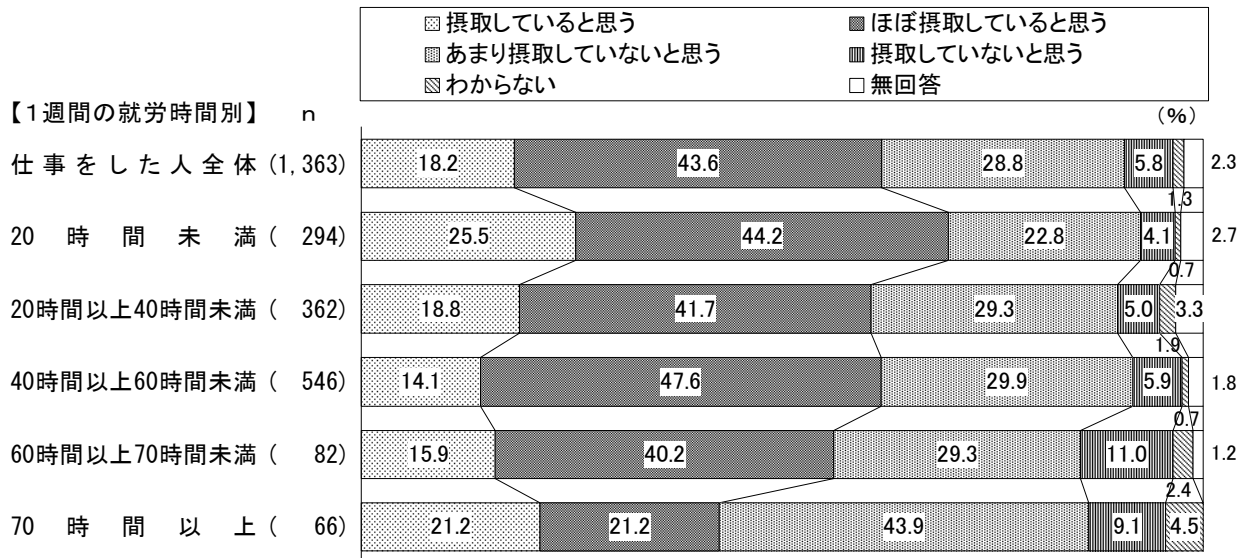
図13-2-7 野菜摂取についての意識（同居家族別）



1週間の就労時間（問20-1）別にみると、「あまり摂取していないと思う」と「摂取していないと思う」の2つを合わせた《摂取していない》は、70時間以上で53.0%と高くなっている。

（図13-2-8）

図13-2-8 野菜摂取についての意識（1週間の就労時間別）

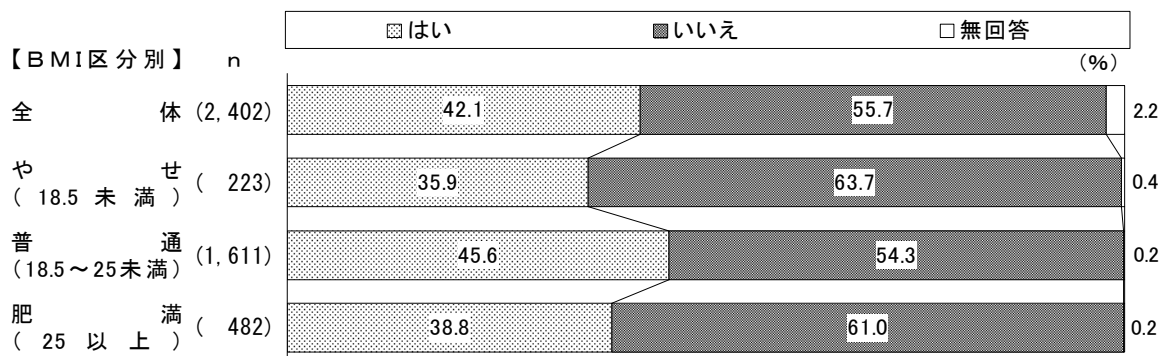


（3）身体活動・運動

① 1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上）の実施状況（問15）

BMI区分（問9ア）別にみると、「はい」は普通で45.6%となっており、やせ（35.9%）、肥満（38.8%）より高くなっている。（図13-3-1）

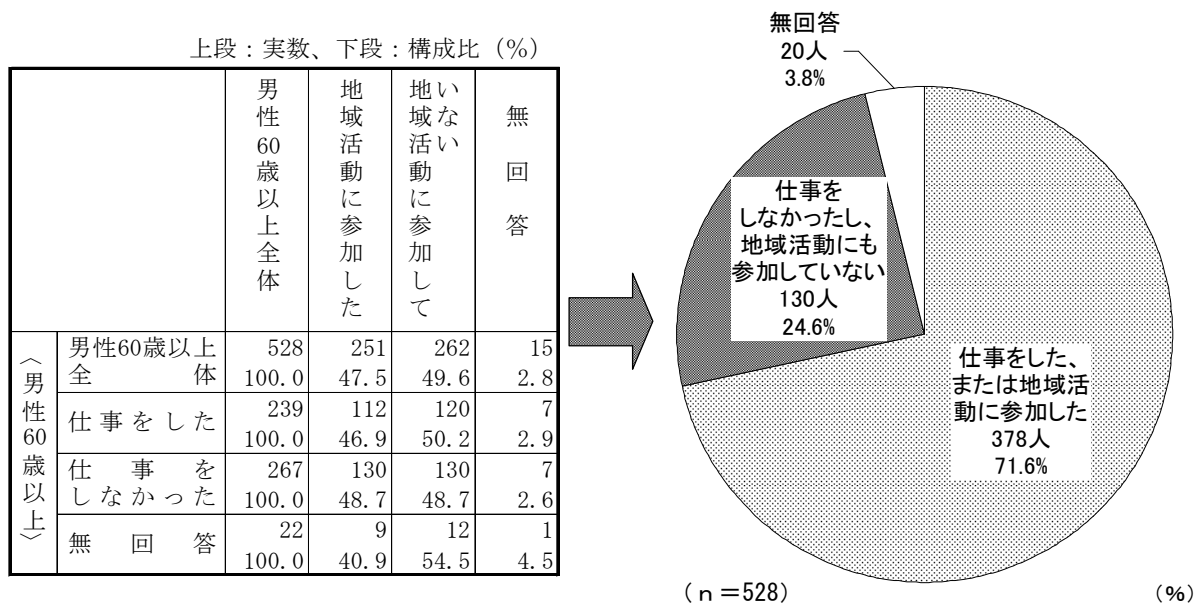
図13-3-1 1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上）の実施状況（BMI区分別）



② 60歳以上の方の地域活動への参加状況（問16）と就労状況（問20）

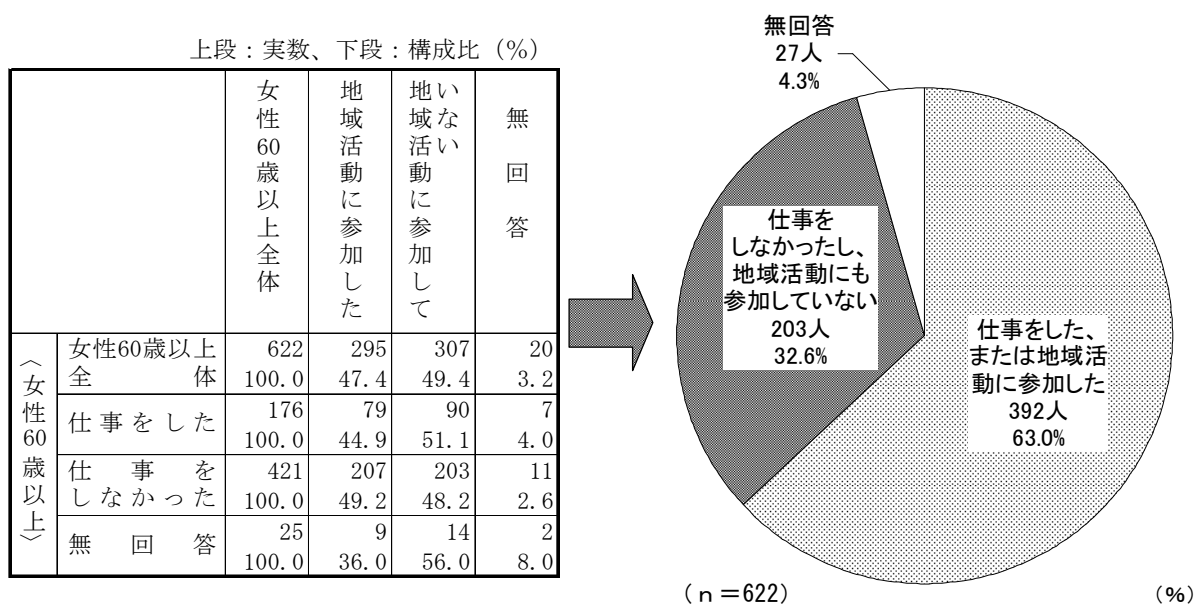
60歳以上の男性のうち、「仕事をした、または地域活動に参加した」人の割合は71.6%、どちらも行っていない人の割合は24.6%となっている。（図13-3-2）

図13-3-2 男性60歳以上の地域活動への参加状況（問16）と就労状況（問20）



60歳以上の女性のうち、「仕事をした、または地域活動に参加した」人の割合は63.0%、どちらも行っていない人の割合は32.6%となっている。（図13-3-3）

図13-3-3 女性60歳以上の地域活動への参加状況（問16）と就労状況（問20）

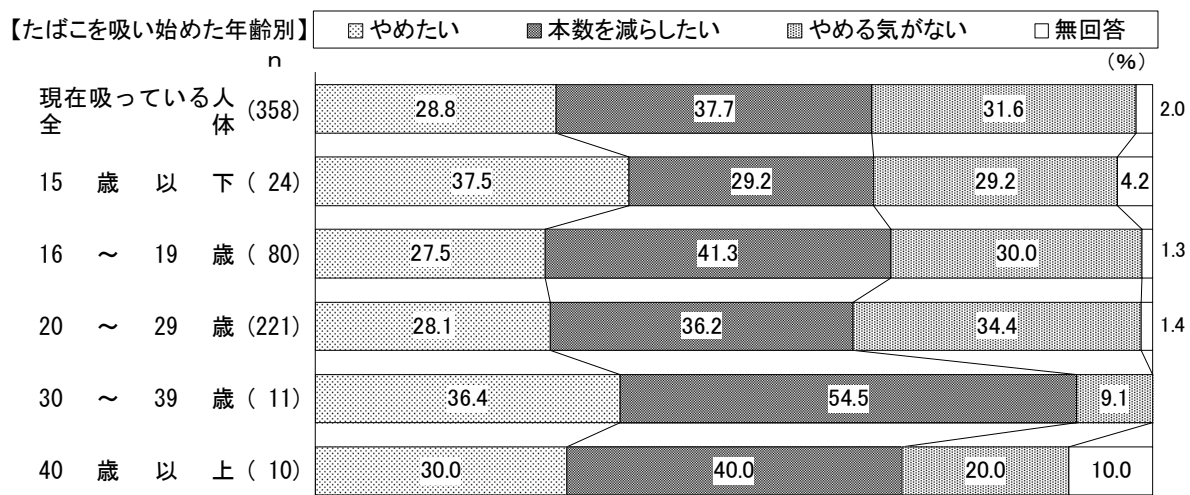


(4) たばこ

① 喫煙に対する考え (問21-2)

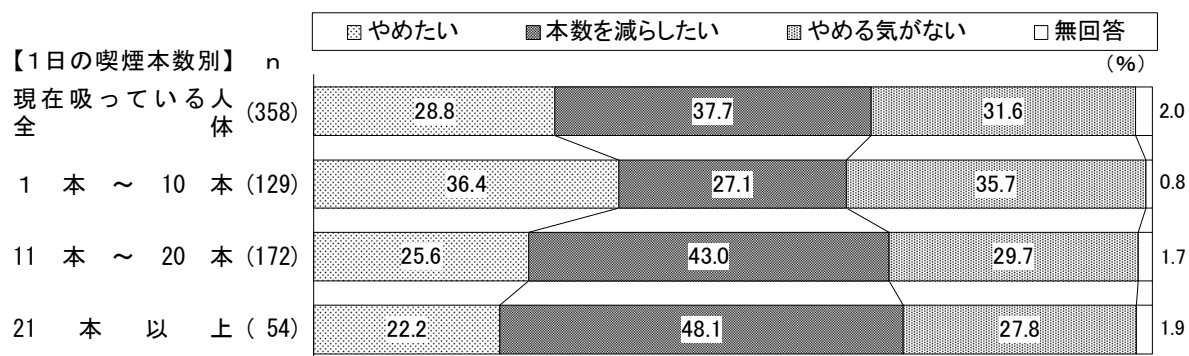
たばこを吸い始めた年齢 (問21-1) 別にみると、「やめたい」は15歳以下で37.5%となっている。(図13-4-1)

図13-4-1 喫煙に対する考え (たばこを吸い始めた年齢別)



1日の喫煙本数 (問21-3) 別にみると、「やめたい」は喫煙本数が少ない人ほど高くなっている一方、「やめる気がない」も喫煙本数が少ない人ほど割合が高くなっている。(図13-4-2)

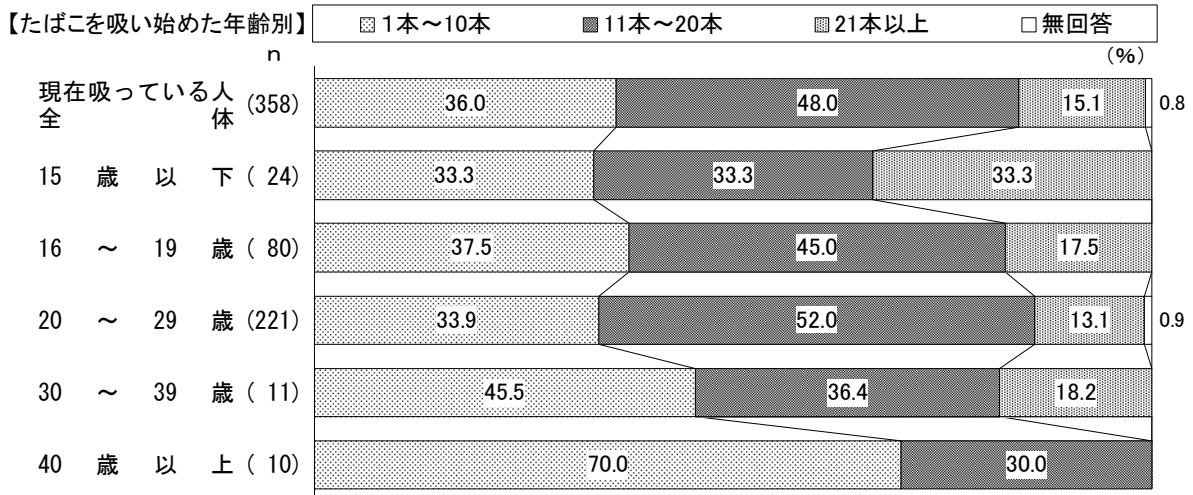
図13-4-2 喫煙に対する考え (1日の喫煙本数別)



② 1日の喫煙本数（問21-3）

たばこを吸い始めた年齢（問21-1）別にみると、「21本以上」は15歳以下で33.3%となっている。（図13-4-3）

図13-4-3 1日の喫煙本数（たばこを吸い始めた年齢別）



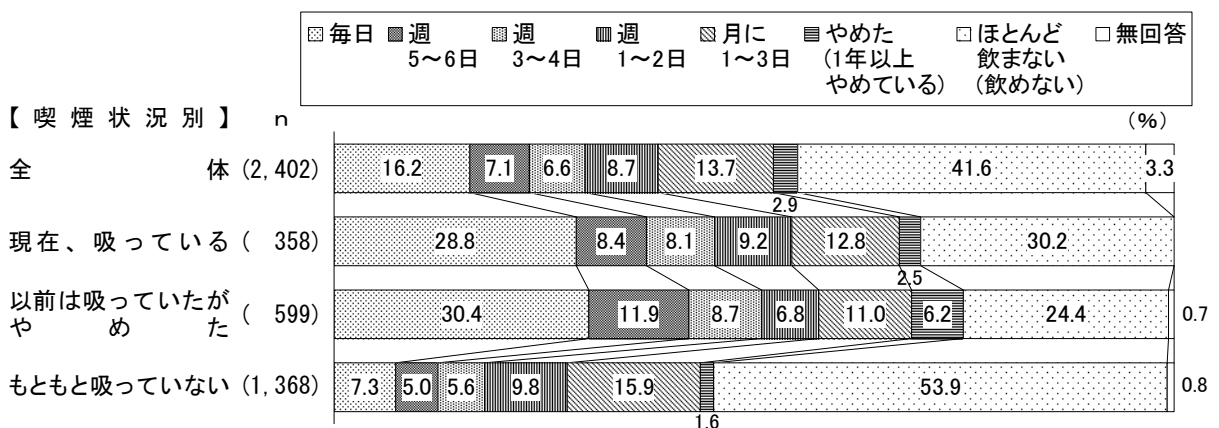
(5) お酒（アルコール）

① 飲酒状況（問22）

喫煙状況（問21）別にみると、「ほとんど飲まない（飲めない）」と「やめた（1年以上やめている）」の2つを合わせた《飲まない》は、もともと吸っていない人で55.5%と高くなっている。「毎日」は現在吸っている人で28.8%、以前は吸っていたがやめた人で30.4%と高くなっている。

（図13-5-1）

図13-5-1 飲酒状況（喫煙状況別）



② 飲酒状況（問22）と1日の飲酒量（問22-1）からみた飲酒量が多い人の割合

飲酒状況（問22）と1日の飲酒量（問22-1）からみた飲酒量が多い人の割合を求めた。

男性で飲酒する人（無回答者を除く735人）のうち、毎日または週5～6日で1日あたり2合以上飲酒する人、週3～4日で1日あたり3合以上飲酒する人、週1～2日または月1～3日で1日あたり5合以上飲酒する人の合計は161人（21.9%）となっている。（表13-5-1）

表13-5-1 飲酒状況（問22）と1日の飲酒量（問22-1）からみた飲酒量が多い人の割合（男性）

上段：実数、下段：構成比（%）

		男性で飲酒する人全体	1合（180 ^m ）未満	1未合以上2合（360 ^m ）未満	2未合以上3合（540 ^m ）未満	3未合以上4合（720 ^m ）未満	4未合以上5合（900 ^m ）未満	5合（900 ^m ）以上	無回答
（男性）	男性で飲酒する人全体	740	247	257	156	54	9	12	5
		100.0	33.4	34.7	21.1	7.3	1.2	1.6	0.7
	毎日	294	65	116	74	29	3	6	1
		100.0	22.1	39.5	25.2	9.9	1.0	2.0	0.3
	週5～6日	116	38	42	28	5	3	-	-
		100.0	32.8	36.2	24.1	4.3	2.6	-	-
	週3～4日	96	40	35	10	7	-	3	1
	100.0	41.7	36.5	10.4	7.3	-	3.1	1.0	
週1～2日	99	37	34	18	7	1	-	2	
	100.0	37.4	34.3	18.2	7.1	1.0	-	2.0	
月に1～3日	135	67	30	26	6	2	3	1	
	100.0	49.6	22.2	19.3	4.4	1.5	2.2	0.7	

女性で飲酒する人（無回答者を除く508人）のうち、毎日または週5～6日、週3～4日で1日あたり1合以上飲酒する人、週1～2日で1日あたり3合以上飲酒する人、月に1～3日で1日あたり5合以上飲酒する人の合計は124人（24.4%）となっている。（表13-5-2）

表13-5-2 飲酒状況（問22）と1日の飲酒量（問22-1）からみた飲酒量が多い人の割合（女性）

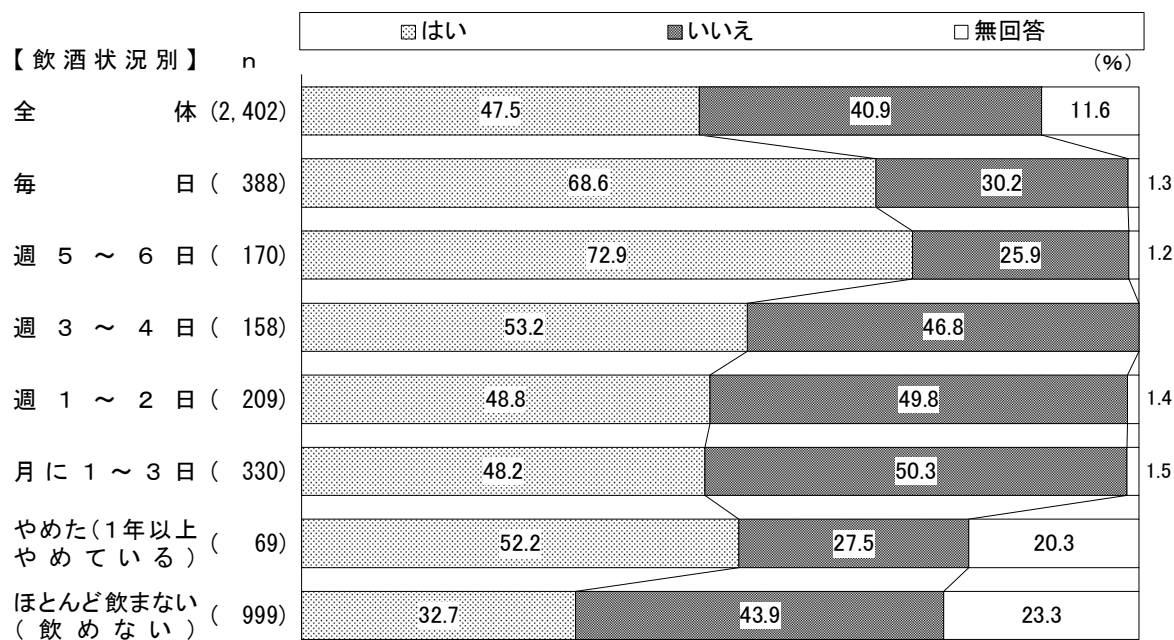
上段：実数、下段：構成比（%）

		女性で飲酒する人全体	1合（180 ^m ）未満	1未合以上2合（360 ^m ）未満	2未合以上3合（540 ^m ）未満	3未合以上4合（720 ^m ）未満	4未合以上5合（900 ^m ）未満	5合（900 ^m ）以上	無回答
（女性）	女性で飲酒する人全体	515	268	160	54	18	4	4	7
		100.0	52.0	31.1	10.5	3.5	0.8	0.8	1.4
	毎日	94	34	37	19	4	-	-	-
		100.0	36.2	39.4	20.2	4.3	-	-	-
	週5～6日	54	26	24	2	1	1	-	-
		100.0	48.1	44.4	3.7	1.9	1.9	-	-
	週3～4日	62	33	23	2	3	-	1	-
	100.0	53.2	37.1	3.2	4.8	-	1.6	-	
週1～2日	110	65	29	11	4	-	-	1	
	100.0	59.1	26.4	10.0	3.6	-	-	0.9	
月に1～3日	195	110	47	20	6	3	3	6	
	100.0	56.4	24.1	10.3	3.1	1.5	1.5	3.1	

③ 「節度ある適度な飲酒」（1日平均清酒1合）の認知度（問23）

飲酒状況（問22）別にみると、「はい」は毎日飲酒する人で68.6%、週5～6日飲酒する人で72.9%と高くなっている。（図13-5-2）

図13-5-2 「節度ある適度な飲酒」（1日平均清酒1合）の認知度（飲酒状況別）

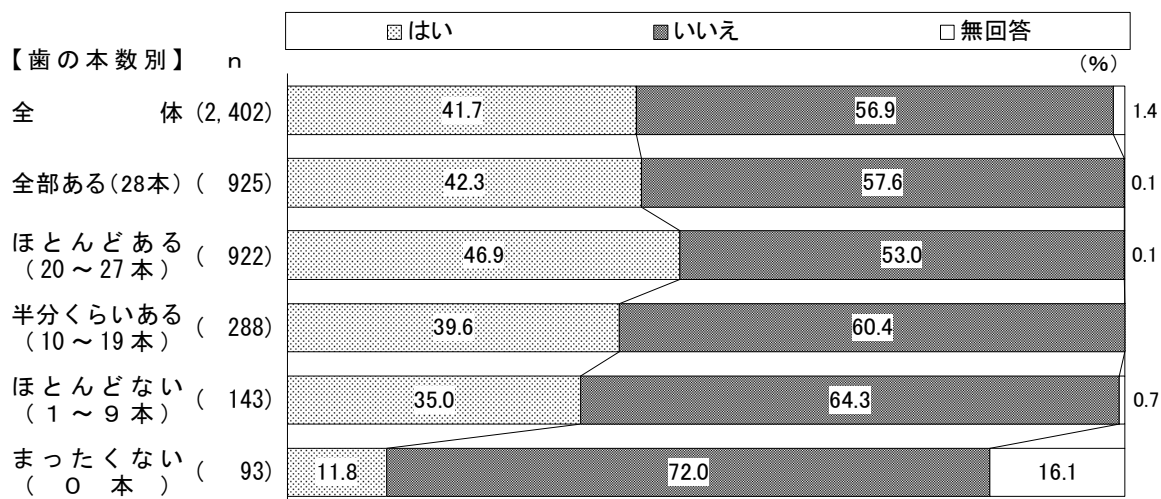


(6) 歯

① 定期的な歯の健康診査の受診状況（問25）

歯の本数（問24）別にみると、「はい」はほとんどある（20～27本）人で46.9%と高くなっている。「いいえ」はまったくない（0本）人で72.0%、ほとんどない（1～9本）人で64.3%と高くなっている。（図13-6-1）

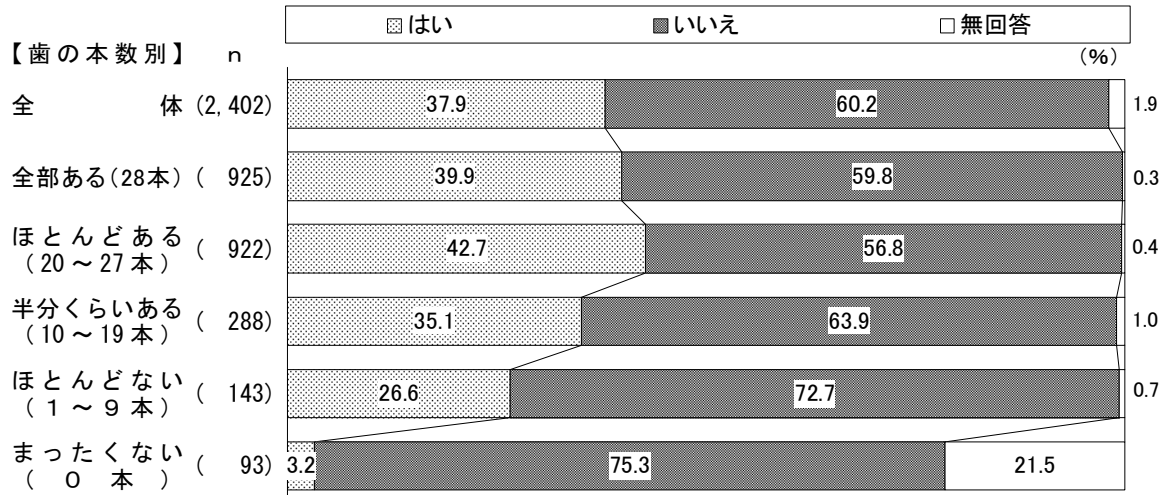
図13-6-1 定期的な歯の健康診査の受診状況（歯の本数別）



② 定期的な歯石除去や歯面清掃の実施状況（問26）

歯の本数（問24）別にみると、「はい」はほとんどある（20～27本）人で42.7%と高くなっている。「いいえ」はまったくない（0本）人で75.3%、ほとんどない（1～9本）人で72.7%と高くなっている。（図13-6-2）

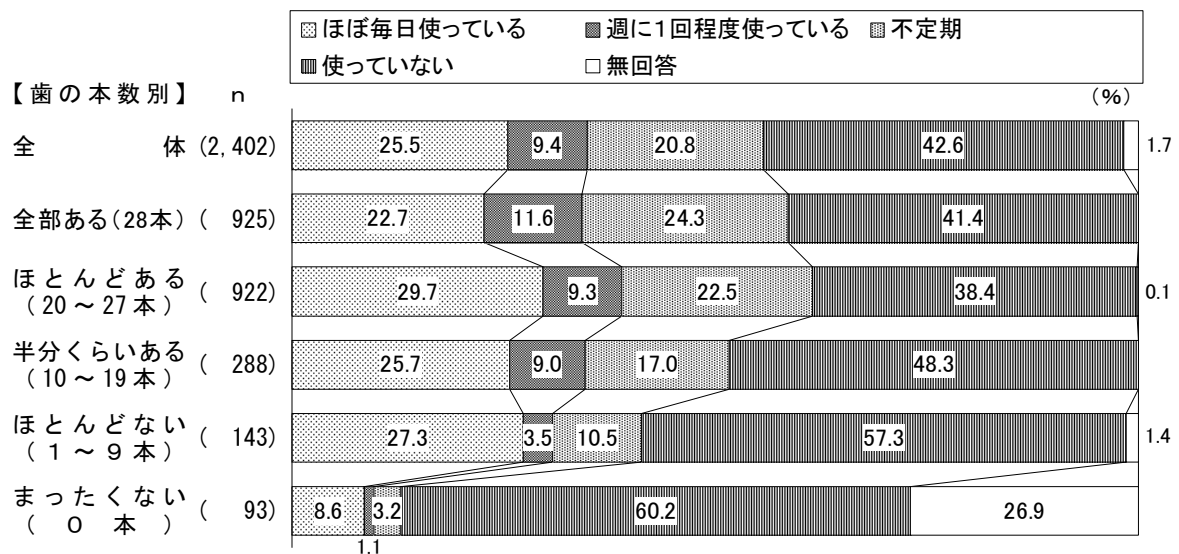
図13-6-2 定期的な歯石除去や歯面清掃の実施状況（歯の本数別）



③ 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（問27）

歯の本数（問24）別にみると、「使っていない」はまったくない（0本）人で60.2%、ほとんどない（1～9本）人で57.3%と高くなっている。（図13-6-3）

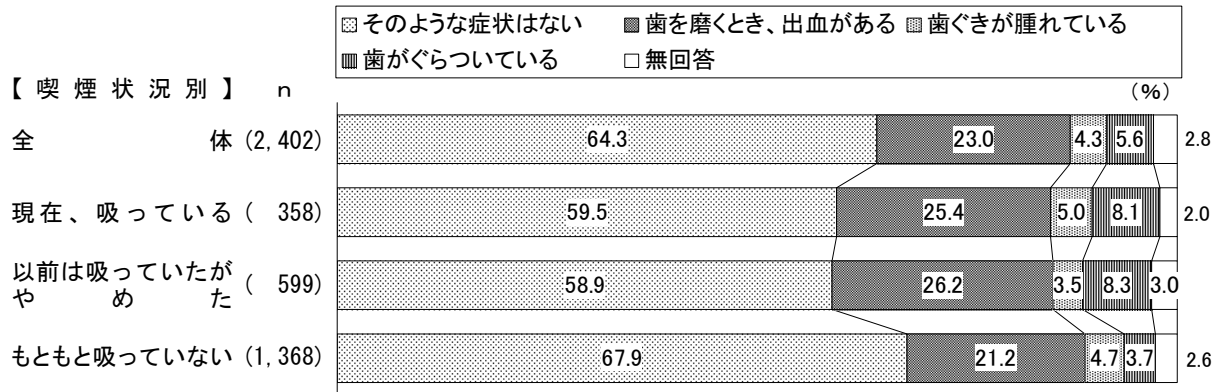
図13-6-3 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（歯の本数別）



④ 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況（問28）

喫煙状況（問21）別にみると、「そのような症状はない」はたばこをもともと吸っていない人で67.9%と高くなっている。（図13-6-4）

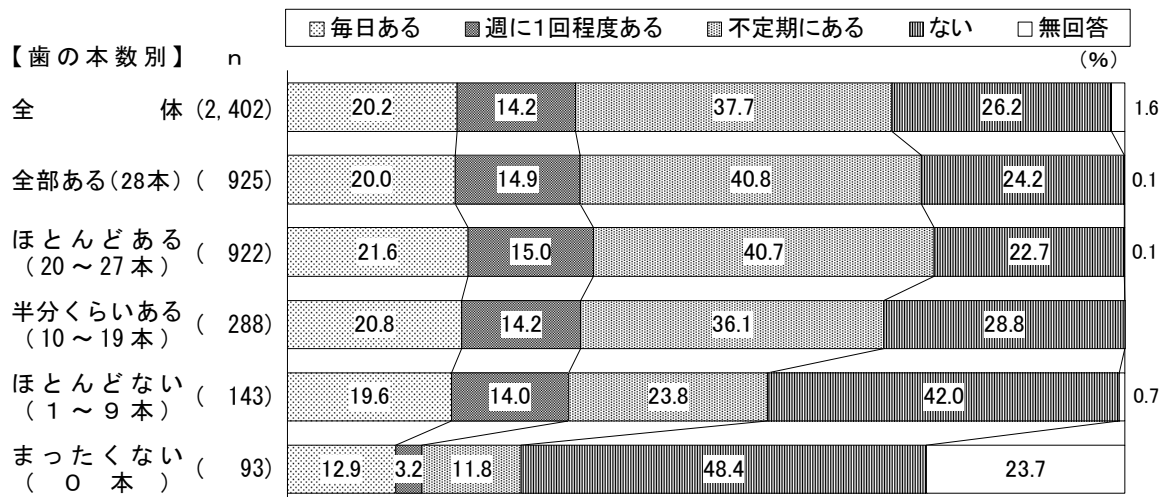
図13-6-4 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況（たばこを吸い始めた年齢別）



⑤ 口の中を観察する習慣（問29）

歯の本数（問24）別にみると、「ない」はまったくない（0本）人で48.4%、ほとんどない（1～9本）人で42.0%と高くなっている。（図13-6-5）

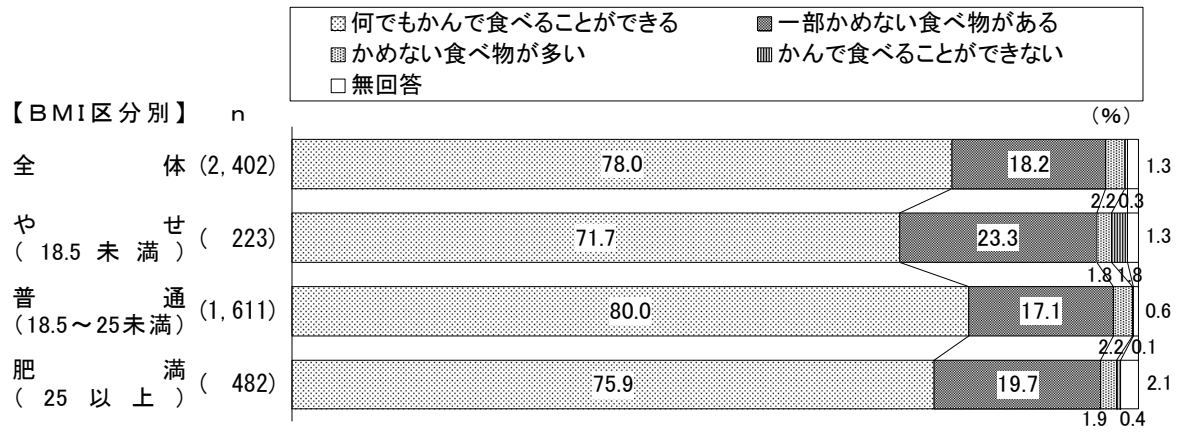
図13-6-5 口の中を観察する習慣（歯の本数別）



⑥ ものをかんで食べることができるか（問30）

BMI区分（問9ア）別にみると、「何でもかんで食べることができる」は普通で80.0%と高くなっている。「一部かめない食べ物がある」はやせで23.3%と高くなっている。（図13-6-6）

図13-6-6 ものをかんで食べることができるか（BMI区分別）

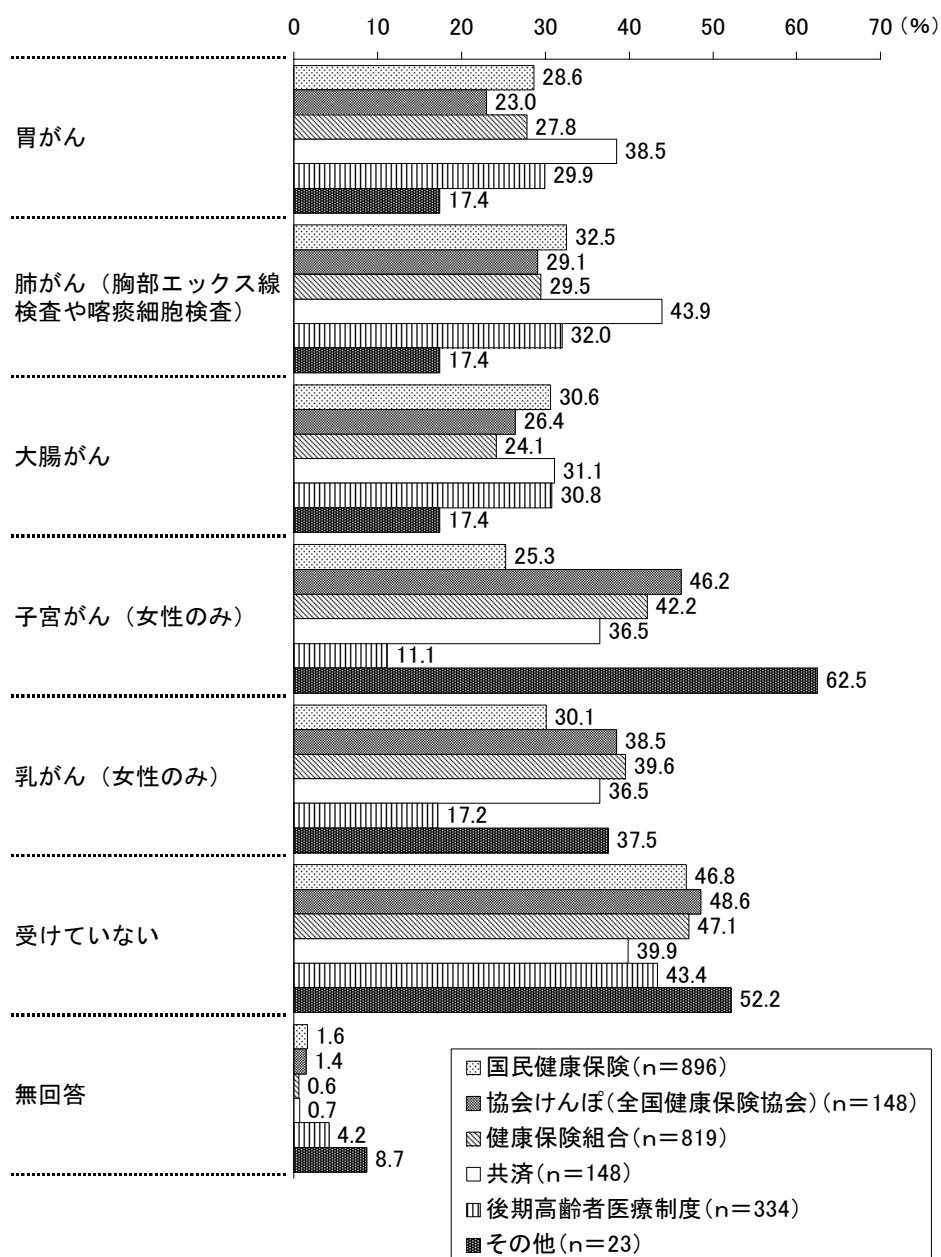


(7) がん

① 最近1年間のがん検診の受診状況（問31）

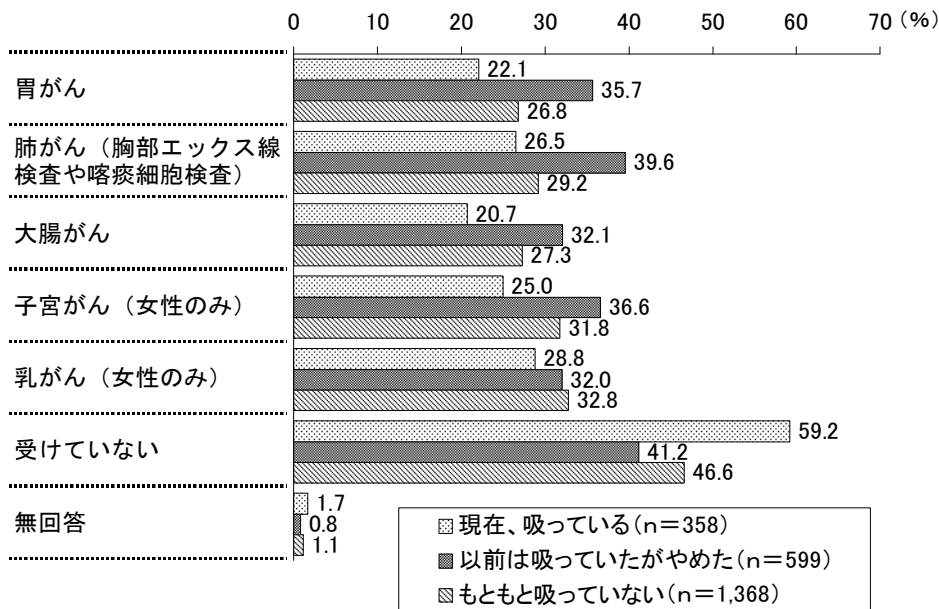
健康保険種別でみると、「胃がん」は共済が38.5%と高く、「肺がん」も共済が43.9%と高くなっている。「子宮がん」は協会けんぽ（全国健康保険協会）が46.2%、健康保険組合が42.2%と高くなっている。「受けていない」は共済が39.9%で最も低くなっている。（図13-7-1）

図13-7-1 最近1年間のがん検診の受診状況（健康保険種別）



喫煙状況（問21）別でみると、「肺がん」は以前は吸っていたがやめた人で39.6%と高くなっている。「受けていない」は現在吸っている人で59.2%と高くなっている。（図13-7-2）

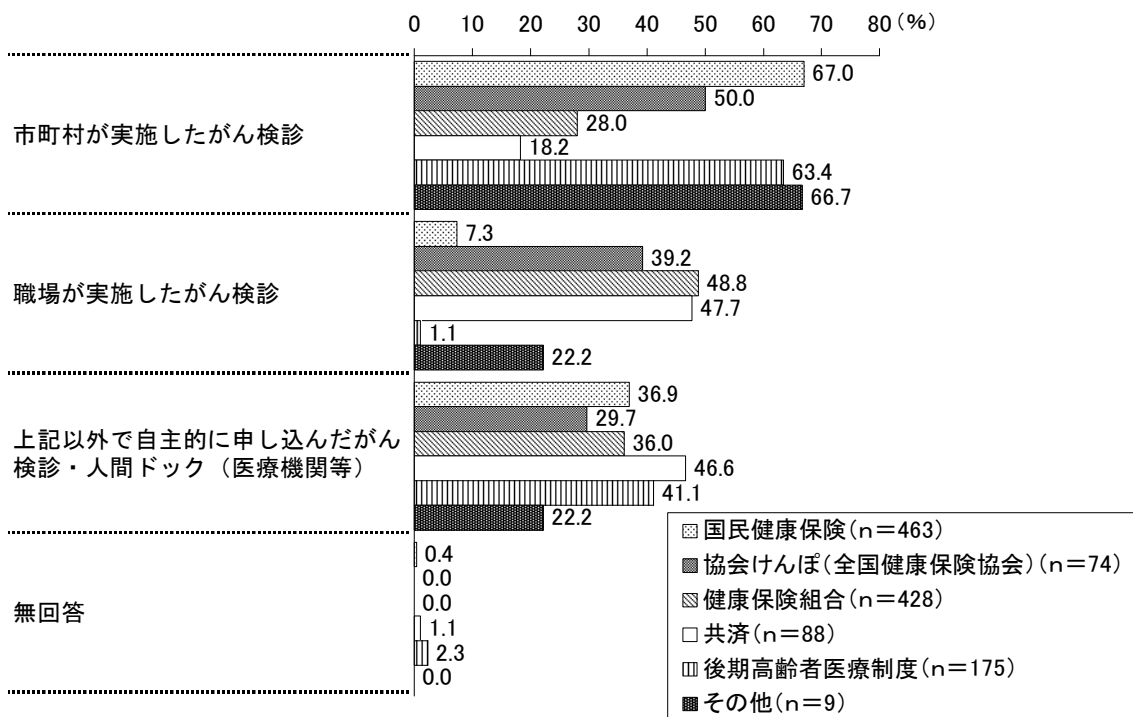
図13-7-2 最近1年間のがん検診の受診状況（喫煙状況別）



② がん検診の受診場所（問31-1）

健康保険種別でみると、「市町村が実施したがん検診」は国民健康保険が67.0%、後期高齢者医療制度が63.4%と高くなっている。「職場が実施したがん検診」は健康保険組合が48.8%、共済が47.7%、協会けんぽ（全国健康保険協会）が39.2%と高くなっている。「自主的に申し込んだがん検診・人間ドック（医療機関等）」は共済が46.6%と高くなっている。（図13-7-3）

図13-7-3 がん検診の受診場所（健康保険種別）

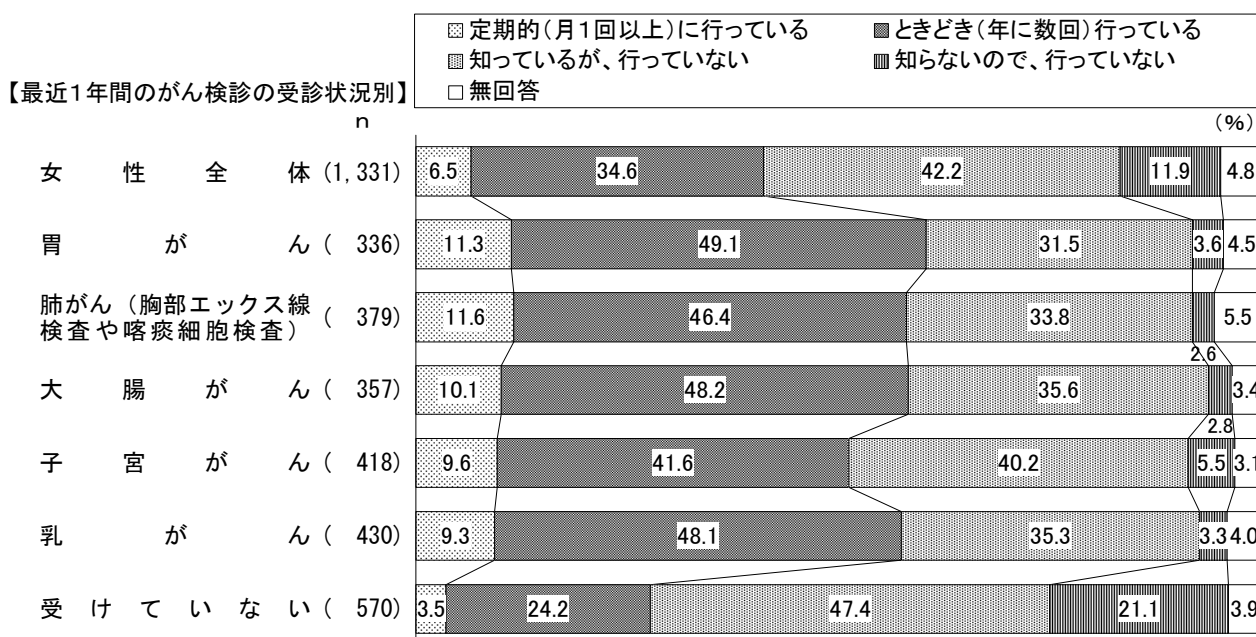


③ 女性の乳がんの自己触診の実施状況（問32）

最近1年間のがん検診の受診状況（問31）別でみると、「知っているが、行っていない」はがん検診を受けていない人で47.4%となっており、乳がん検診を受けている人（35.3%）より12.1ポイント高くなっている。「知らないで、行っていない」はがん検診を受けていない人で21.1%となっており、乳がん検診を受けている人（3.3%）より17.8ポイント高くなっている。

（図13-7-4）

図13-7-4 女性の乳がんの自己触診の実施状況（最近1年間のがん検診の受診状況別）

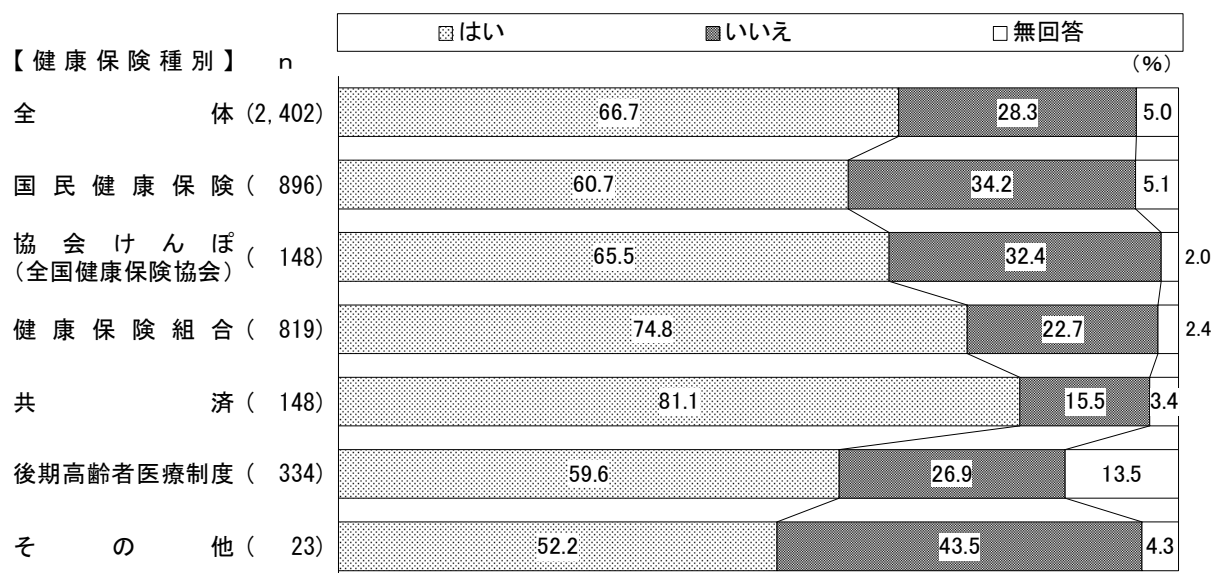


(8) 健康診断

① 過去1年間の健診や人間ドックの受診状況（問33）

健康保険種別でみると、「はい」は共済が81.1%、健康保険組合が74.8%と高くなっている。「いいえ」は国民健康保険が34.2%と高くなっている。（図13-8-1）

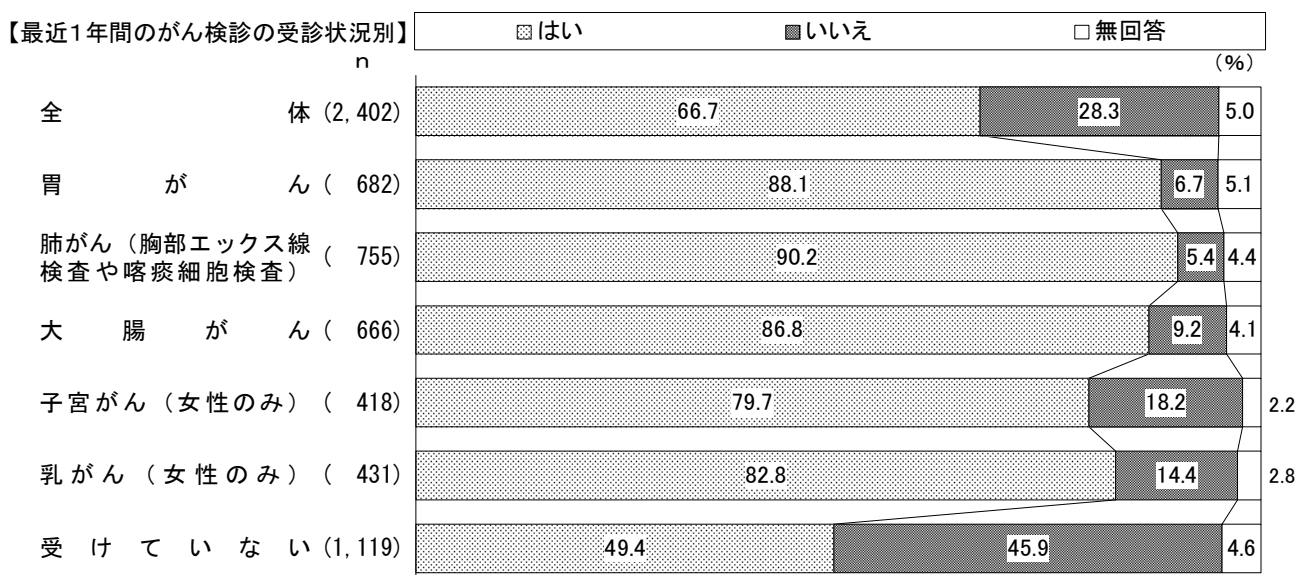
図13-8-1 過去1年間の健診や人間ドックの受診状況（健康保険種別）



最近1年間のがん検診の受診状況（問31）別でみると、「いいえ」はがん検診を受けていない人で45.9%となっており、各種のがん検診を受けている人に比べて割合が高くなっている。

（図13-8-2）

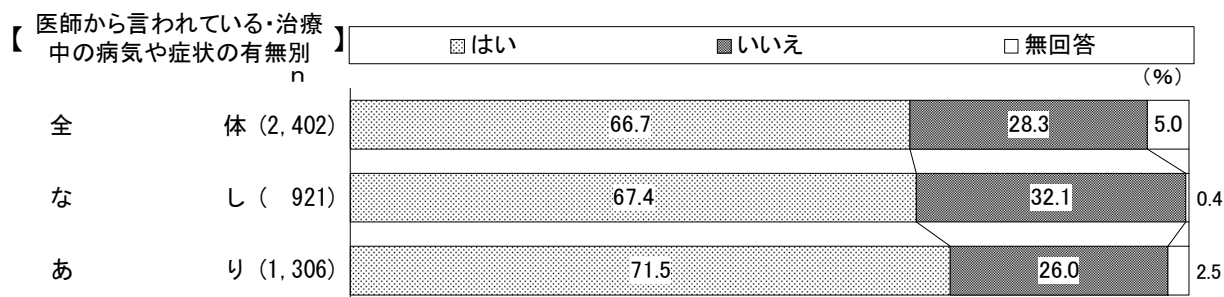
図13-8-2 過去1年間の健診や人間ドックの受診状況（最近1年間のがん検診の受診状況別）



医師から言われている・治療中の病気や症状（問34）の有無別でみると、「はい」は、病気や症状がある人で71.5%となっており、病気や症状がない人（67.4%）より4.1ポイント高くなっている。

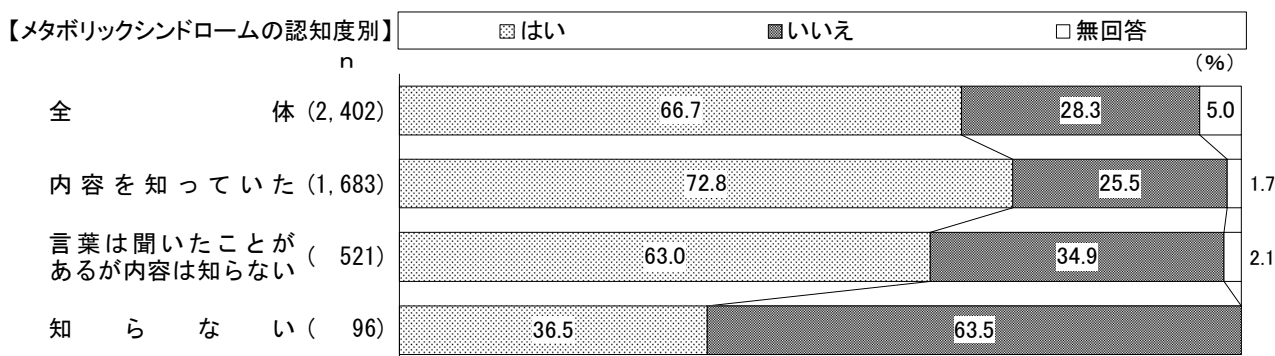
（図13-8-3）

図13-8-3 過去1年間の健診や人間ドックの受診状況（医師から言われている・治療中の病気や症状の有無別）



メタボリックシンドロームの認知度(問35)別でみると、「はい」は、内容を知っていた人で72.8%、言葉は聞いたことがあるが内容は知らない人で63.0%となっており、知らない人(36.5%)に比べて高くなっている。(図13-8-4)

図13-8-4 過去1年間の健診や人間ドックの受診状況(メタボリックシンドロームの認知度別)

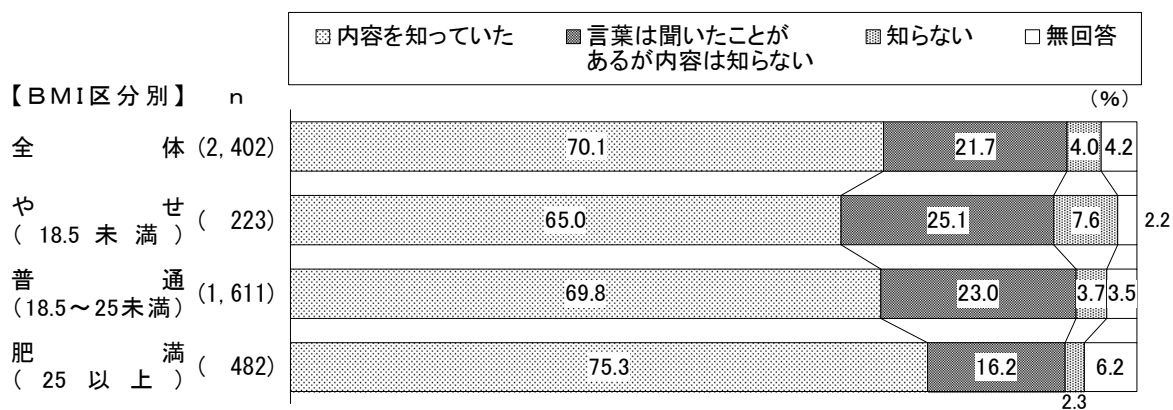


(9) 健康に関する情報

① メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の認知度(問35)

BMI区分(問9ア)別でみると、「内容を知っていた」はBMI区分による肥満度の高い人ほど割合が高くなっている。(図13-9-1)

図13-9-1 メタボリックシンドロームの認知度(BMI区分別)

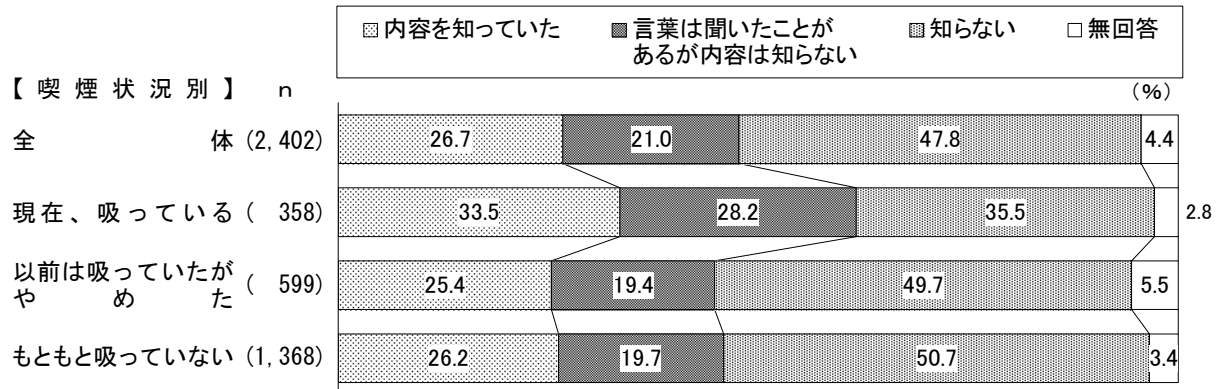


② COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（問37）

喫煙状況（問21）別でみると、「内容を知っていた」は現在吸っている人で33.5%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。

（図13-9-2）

図13-9-2 COPDの認知度（喫煙状況別）

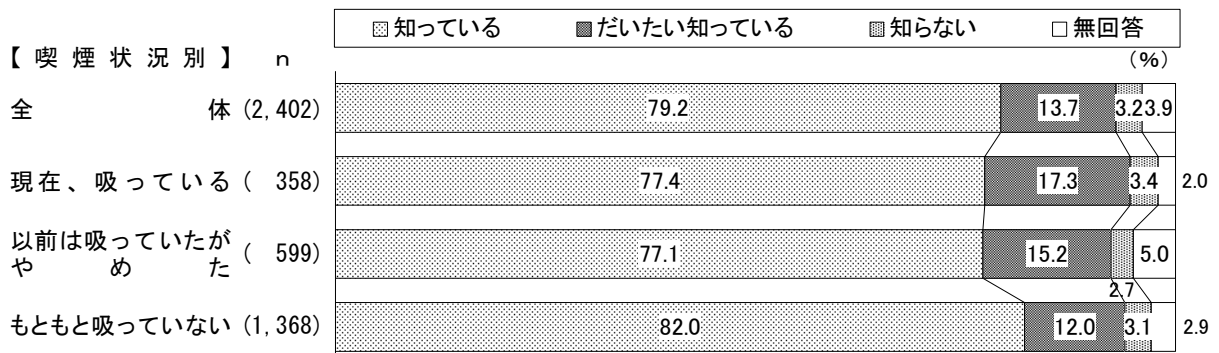


(10) 受動喫煙の防止

① 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（問38）

喫煙状況（問21）別でみると、「知っている」はもともと吸っていない人で82.0%となっており、現在吸っている人、以前は吸っていたがやめた人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-1）

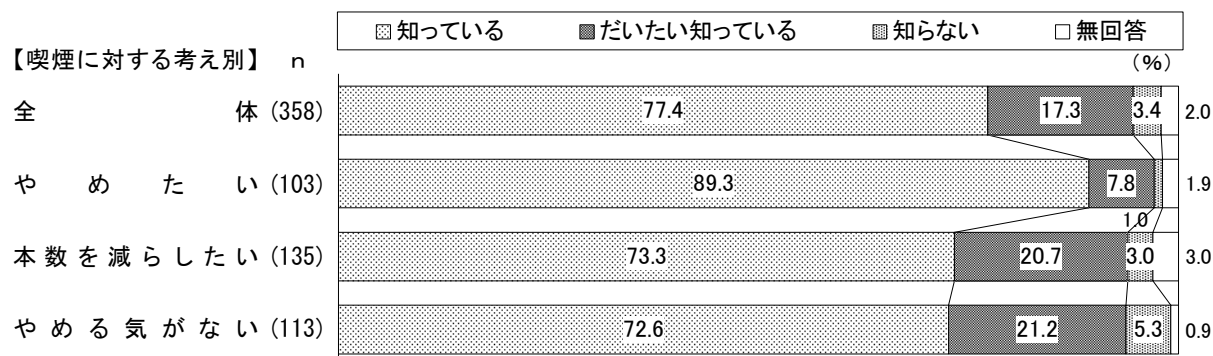
図13-10-1 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（喫煙状況別）



喫煙に対する考え（問21-2）別でみると、「知っている」はたばこをやめたい人で89.3%となっており、本数を減らしたい人、やめる気がない人に比べて割合が高くなっている。

(図13-10-2)

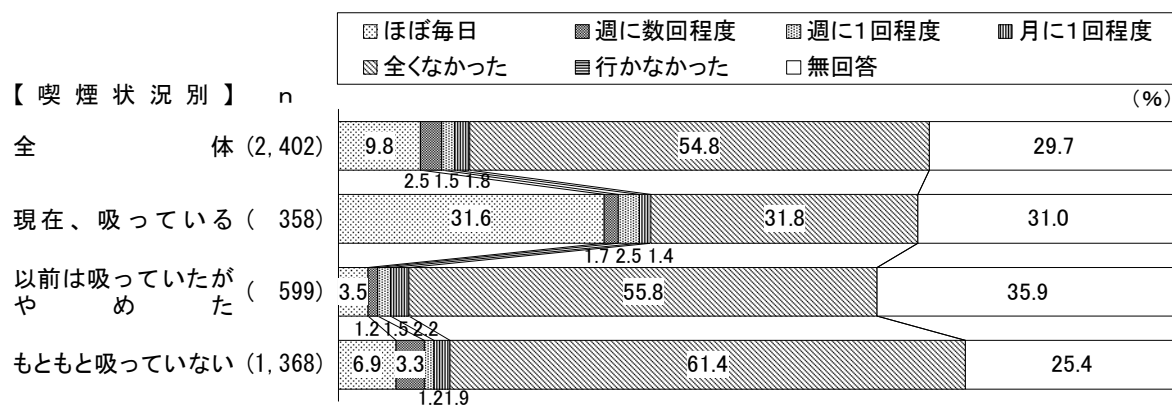
図13-10-2 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（喫煙に対する考え別）



②ア 受動喫煙があった場所 ア 家庭（問39ア）

喫煙状況（問21）別でみると、「ほぼ毎日」は現在吸っている人で31.6%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。(図13-10-3)

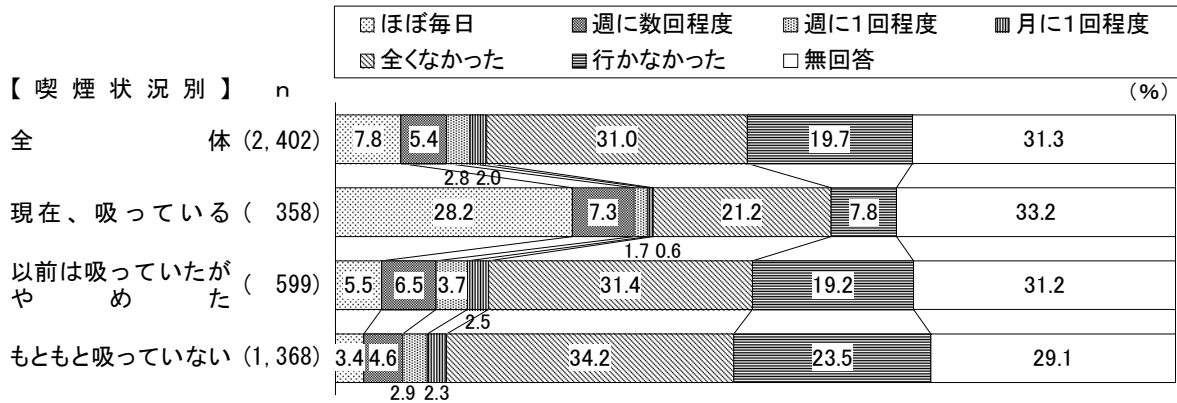
図13-10-3 受動喫煙があった場所 ア 家庭（喫煙状況別）



②イ 受動喫煙があった場所 イ 職場（問39イ）

喫煙状況（問21）別でみると、「ほぼ毎日」は現在吸っている人で28.2%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-4）

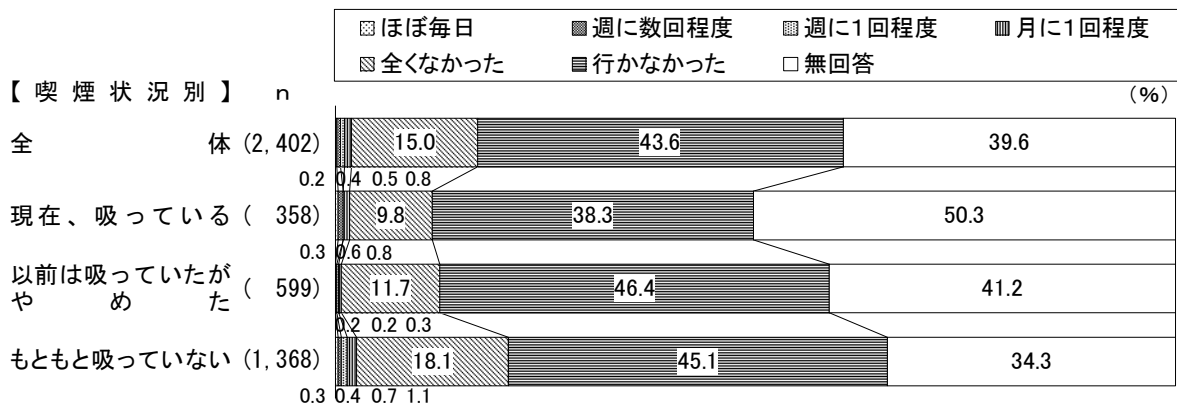
図13-10-4 受動喫煙があった場所 イ 職場（喫煙状況別）



②ウ 受動喫煙があった場所 ウ 学校（問39ウ）

喫煙状況（問21）による大きな傾向の違いはみられない。（図13-10-5）

図13-10-5 受動喫煙があった場所 ウ 学校（喫煙状況別）

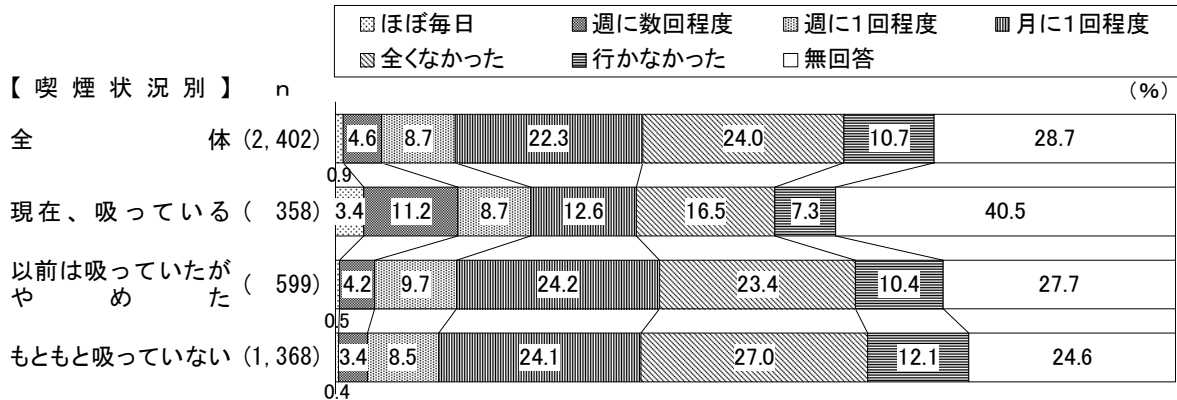


②エ 受動喫煙があった場所 エ 飲食店（問39エ）

喫煙状況（問21）別でみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」、「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》の割合は、喫煙状況の違いによる大きな傾向の違いはみられない。

（図13-10-6）

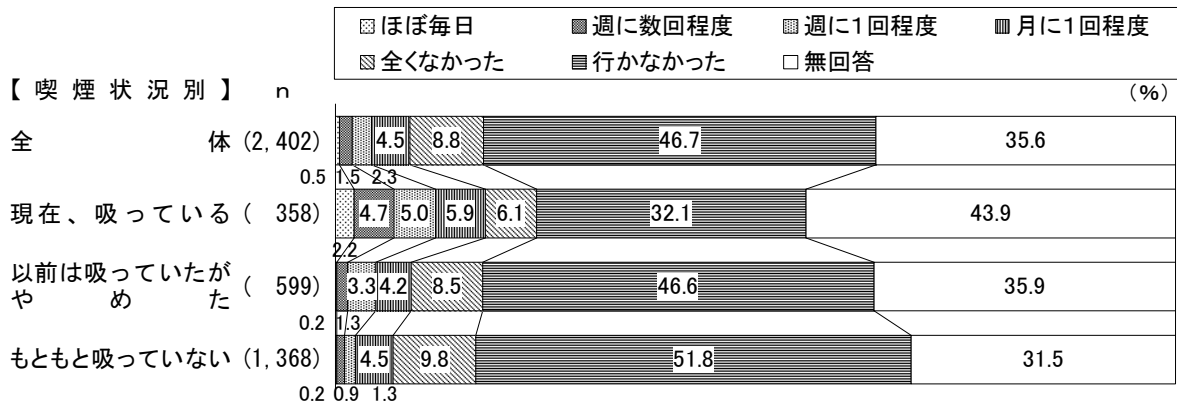
図13-10-6 受動喫煙があった場所 エ 飲食店（喫煙状況別）



②オ 受動喫煙があった場所 オ 遊技場（ゲームセンター、パチンコ、競馬など）（問39オ）

喫煙状況（問21）別でみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」、「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》の割合は、現在吸っている人で17.8%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-7）

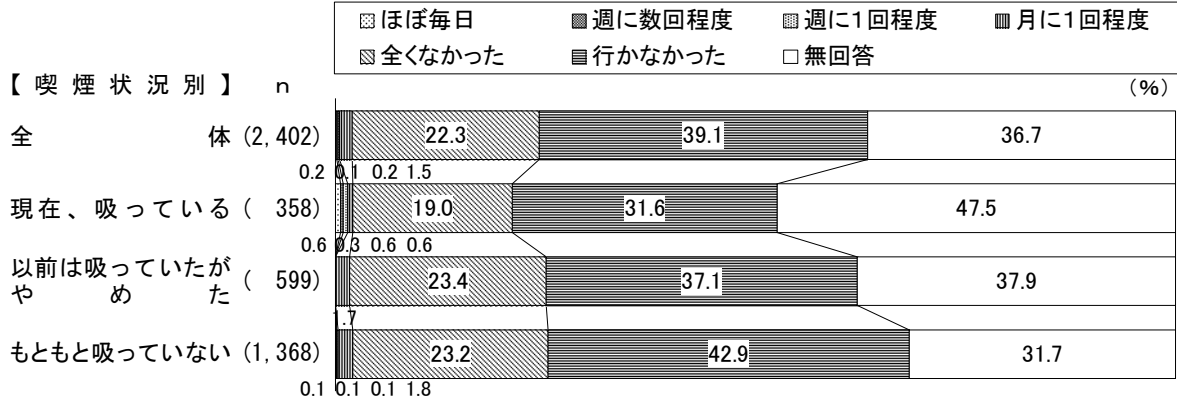
図13-10-7 受動喫煙があった場所 オ 遊技場（喫煙状況別）



②カ 受動喫煙があった場所 カ 行政機関（市役所、役場など）（問39カ）

喫煙状況（問21）による大きな傾向の違いはみられない。（図13-10-8）

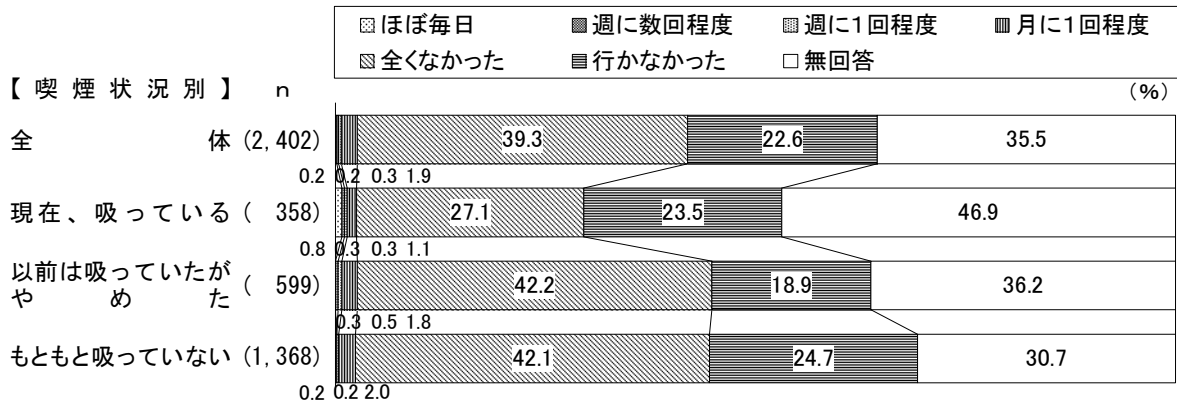
図13-10-8 受動喫煙があった場所 カ 行政機関（喫煙状況別）



②キ 受動喫煙があった場所 キ 医療機関（問39キ）

喫煙状況（問21）による大きな傾向の違いはみられない。（図13-10-9）

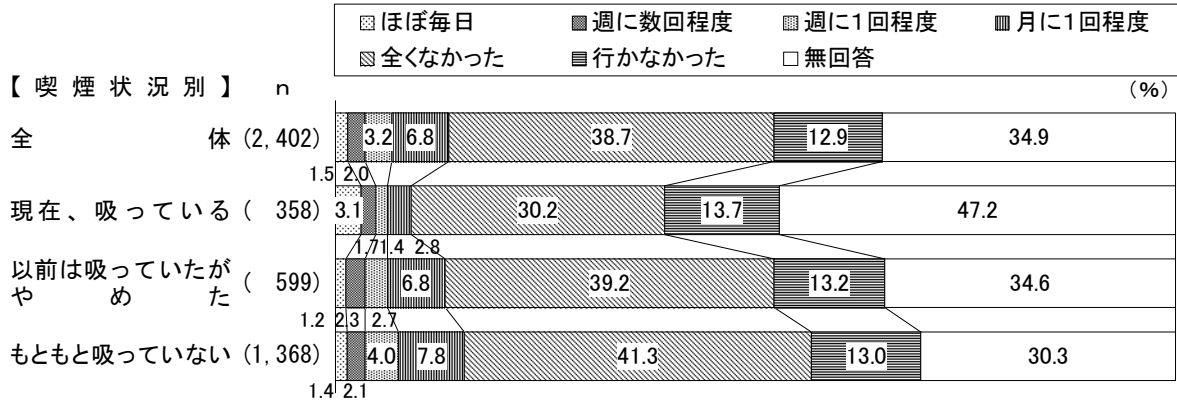
図13-10-9 受動喫煙があった場所 キ 医療機関（喫煙状況別）



②ク 受動喫煙があった場所 ク 公共交通機関（問39ク）

喫煙状況（問21）別でみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」、「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》の割合は、もともと吸っていない人で15.3%となっており、現在吸っている人、以前は吸っていたがやめた人に比べて割合がやや高くなっている。（図13-10-10）

図13-10-10 受動喫煙があった場所 ク 公共交通機関（喫煙状況別）

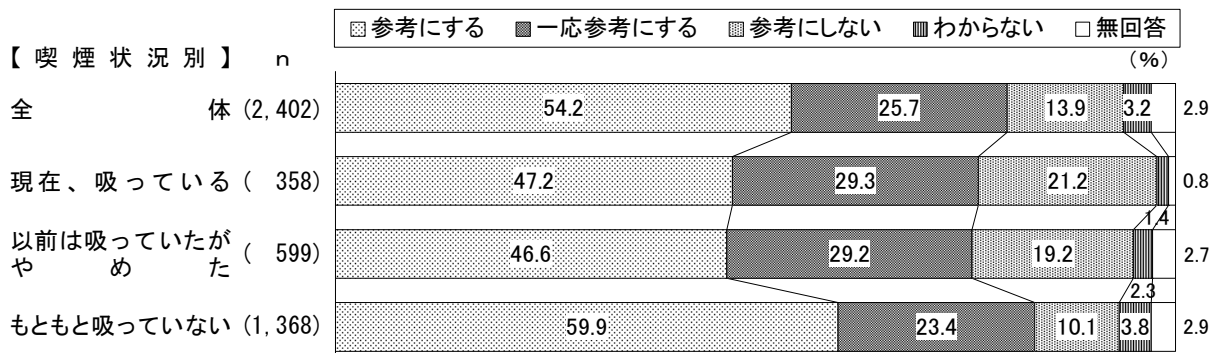


③ 飲食店選択時に禁煙・分煙表示を参考にするか（問40）

喫煙状況（問21）別でみると、「参考にする」は、もともと吸っていない人で59.9%となっており、現在吸っている人、以前は吸っていたがやめた人に比べて割合が高くなっている。

（図13-10-11）

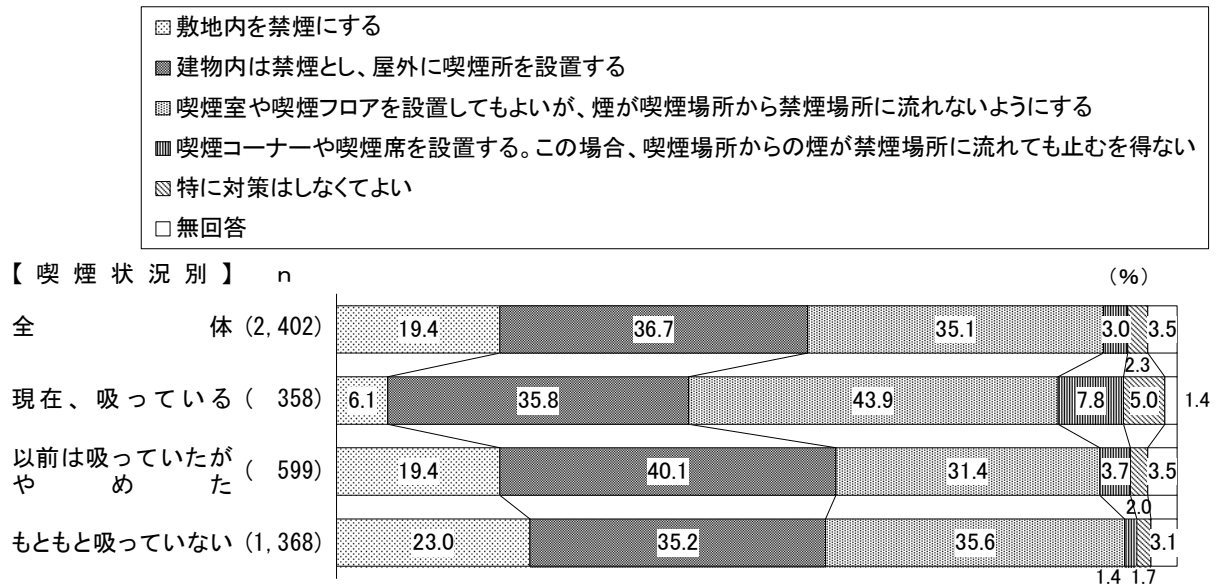
図13-10-11 飲食店選択時に禁煙・分煙表示を参考にするか（喫煙状況別）



④ 不特定多数が利用する施設での受動喫煙防止対策（問41）

喫煙状況（問21）別でみると、「敷地内を禁煙にする」は、もともと吸っていない人で23.0%、以前は吸っていたがやめた人で19.4%となっており、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。「喫煙室や喫煙フロアを設置してもよいが、煙が喫煙場所から禁煙場所に流れないようにする」は、現在吸っている人で43.9%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-12）

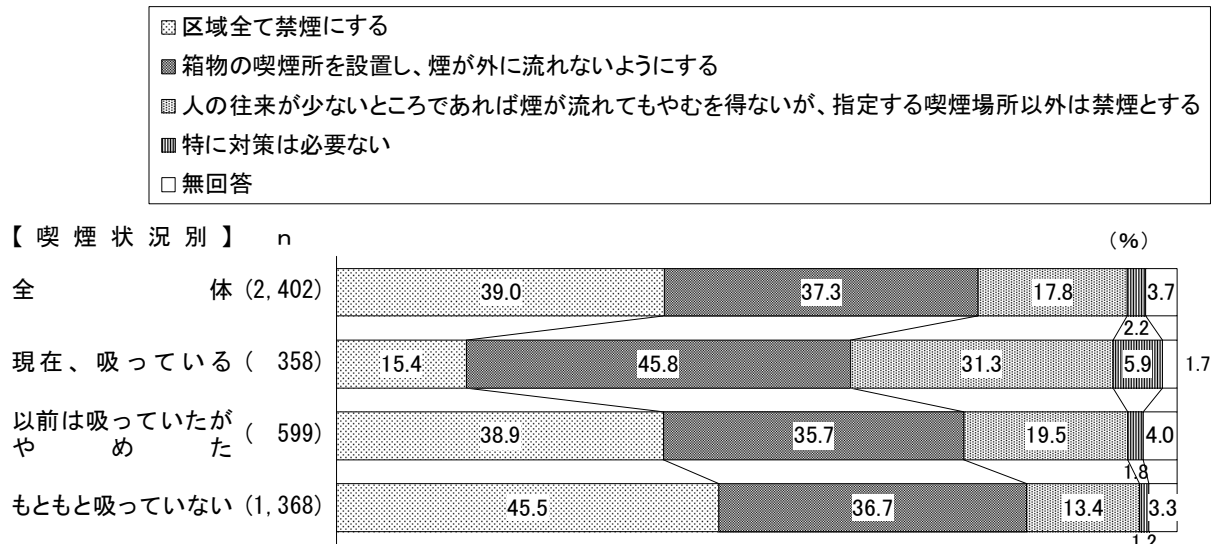
図13-10-12 不特定多数が利用する施設での受動喫煙防止対策（喫煙状況別）



⑤ 子どもの利用が想定される公共的空間での受動喫煙防止対策（問42）

喫煙状況（問21）別で見ると、「区域全て禁煙にする」は、もともと吸っていない人で45.5%、以前は吸っていたがやめた人で38.9%となっており、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。「人の往来が少ないところであれば煙が流れてもやむを得ないが、指定する喫煙場所以外は禁煙とする」は、現在吸っている人で31.3%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-13）

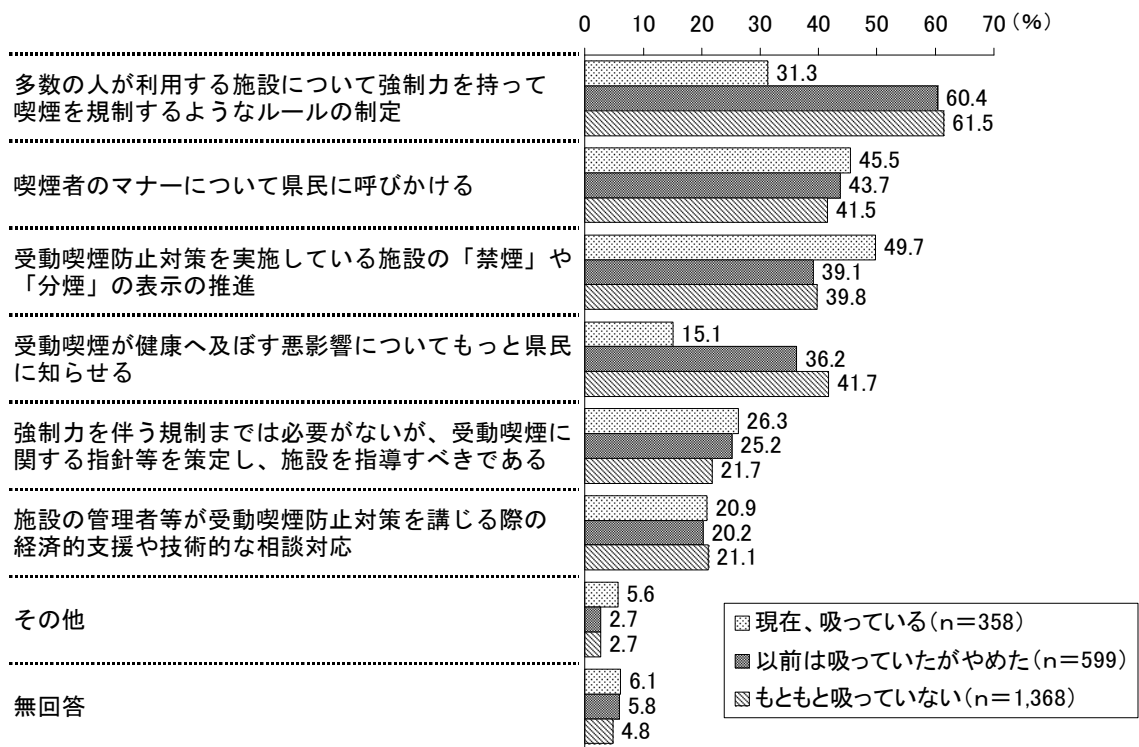
図13-10-13 子どもの利用が想定される公共的空間での受動喫煙防止対策（喫煙状況別）



⑥ 受動喫煙を防止するための千葉県に望むこと（問43）

喫煙状況（問21）別でみると、「多数の人が利用する施設について強制力を持って喫煙を規制するようなルール」の制定は、もともと吸っていない人で61.5%、以前は吸っていたがやめた人で60.4%となっており、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。「受動喫煙防止対策を実施している施設の「禁煙」や「分煙」の表示の推進」は、現在吸っている人で49.7%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。「受動喫煙が健康へ及ぼす悪影響についてもっと県民に知らせる」は、もともと吸っていない人で41.7%、以前は吸っていたがやめた人で36.2%となっており、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-14）

図13-10-14 受動喫煙を防止するための千葉県に望むこと（喫煙状況別）



⑦ 建物内禁煙としてほしい施設（問44）

喫煙状況（問21）別で見ると、「食堂・レストラン・喫茶店等の食事提供が主な飲食店」は、もともと吸っていない人で56.9%、以前は吸っていたがやめた人で44.1%となっており、現在吸っている人に比べて割合が特に高くなっている。それ以外でも、「病院・診療所」、「公民館等の集会場」、「デパート・スーパー・コンビニエンスストア・小売店等」、「遊園地・テーマパーク・ゲームセンター等の娯楽施設」、「旅館・ホテル」、「割烹・居酒屋・スナック等の酒類提供が主な飲食店」は、もともと吸っていない人や以前は吸っていたがやめた人では、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。（図13-10-15）

図13-10-15 建物内禁煙としてほしい施設（喫煙状況別）

